

事務事業及び予算の執行実績

(令和7年度分「一部、令和8年度分を含む」)

静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター
静岡県畜産経営環境技術センター

菊川市西方2780

電 話 0537-35-2291

FAX 0537-35-2294

目 次

事務事業の概要

1 概要	1
2 事業の目的、計画、実績（成果）及び評価、改善	4
（1）総務事務	4
（2）試験研究の概要	5
（3）試験研究及び関連事業の実施状況	10
（4）試験研究成果一覧表	19
（5）研究成果の広報・普及	37
（6）その他の研修等普及指導・広報活動	39
3 事業の根拠法令調	40
職員配置調	41
歳入予算執行状況調	42
預金調	46
郵券等受払調	47
歳出予算執行状況調	48
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	53
委託料に関する調	56
負担金支出調	62
建築工事調	64
公有財産調	66
借地借家等調	67
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	68
行政財産貸付・使用許可調	69
普通財産・借受財産等貸付調	69
職員公舎管理状況調	70
備品・図書調	71
主要備品調	75
動物管理状況調	76
生産物受払調	77

事務事業の概要

1 概 要

(1) 沿 革

(畜産技術研究所)

- 昭和 4 年 5 月 乳牛の改良増殖機関として、沼津市三枚橋に県沼津種畜場を創設
- 昭和 25 年 7 月 御殿場市神山の農林省種羊場駿河支場（昭和 15 年設立）を本県が譲り受け、牛、
綿羊、豚、鶏の総合種畜場として発足
- 昭和 37 年 4 月 総合種畜場を種畜毎に分離改組。種牛部門は酪農試験場として、種畜場跡地に新
設するとともに、富士宮市内野の現在地に西富士支場を開設
- 昭和 40 年 4 月 西富士支場を育成試験場に改称、育成牛放牧、凍結精液生産・配布業務と草地、
放牧、後代検定等関連研究を推進。畜産講習所は酪農専門研修所に改組
- 昭和 47 年 7 月 酪農試験場と育成試験場を統合して畜産試験場と改称。管理、乳牛、肉牛、経営
の 4 部制とし、高度な試験研究推進のため諸施設整備の拡充を図り、牛関連研究
の試験場として発足
酪農専門研修所は畜産専門研修所と改称
- 平成 3 年 10 月 畜産試験場整備事業(昭63~平5)により管理研究棟完成、研究・事務関係移転
- 平成 11 年 4 月 農林短期大学校畜産分校は、農林大学校畜産分校に再編
- 平成 19 年 4 月 組織再編により畜産試験場、中小家畜試験場を統合し、畜産技術研究所として
発足。中小家畜試験場を前身として、菊川市に中小家畜研究センターを設立
- 令和 3 年 3 月 農林大学校畜産分校は、農林環境専門職大学への移行により廃止

(中小家畜研究センター)

- 昭和 4 年 3 月 県浜名種畜場（浜名郡中瀬村、現浜松市浜名区）設置、主として種豚、種鶏に関
する試験研究を開始
- 昭和 25 年 7 月 機構改革により、浜名種畜場を県種畜場浜名分場に改組
- 昭和 37 年 4 月 養豚部門を養豚試験場（現浜松市浜名区）、養鶏部門を養鶏試験場（掛川市下垂
木）として、それぞれ新設
- 昭和 62 年 4 月 小笠郡菊川町西方（現菊川市西方）に両場を移転統合し、県中小家畜試験場とし
て発足。併せて、県立農林短期大学校中小家畜分校（養豚科、養鶏科）を設置。
また、養豚及び養鶏経営の合理化、並びに経営環境の保全を図るため、畜産経営
環境技術センターを新設
- 平成 11 年 4 月 農林短期大学校中小家畜分校は、農林大学校中小家畜分校に再編
- 平成 19 年 4 月 組織改正により、畜産試験場と統合し、畜産技術研究所中小家畜研究センターに
改組
- 令和 3 年 3 月 農林大学校中小家畜分校は、農林環境専門職大学への移行により廃止

(2) 静岡県の畜産の概要

本県の畜産は、優れた生産技術と自然条件や交通立地条件等を活かし、県民に新鮮で安全な畜産物を安定的に供給している。令和6年の本県農業産出額2,396億円(前年比106.7%)に占める畜産の額は605億円(前年比95.0%)で、その割合は25.2%と本県農業の牽引役となっている。

近年、県内ではクラスター事業を活用した生産性向上や規模拡大の取組が活発で、大規模畜産企業体の参入もあり、従来の家族経営から法人経営へ変化しつつある。一方で、悪臭に代表される苦情発生件数は横ばい状態にある。また、世界的な穀物需給と為替変動等により、飼料を始めとする生産資材価格は高止まり状況である。加えて、TPPやEPA等の貿易協定の合意による国際化に対応できる生産基盤の強化が急務となっている。このように、変化の激しい時代において、生産者からは安心して経営を継続できる技術やビジネスチャンスを見出すための新しい技術が求められている。

このため、本県では「静岡県総合計画～しずおか ウェルビーイングプラン～」の分野別計画である「静岡県民の豊かな暮らしを支える食と農の基本条例」に基づく「静岡県食と農の基本計画（令和7～令和10年度）」に加え、「静岡県酪農・肉用牛生産近代化計画」、「静岡県の家畜及び鶏の改良増殖計画」及び「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」等に基づき、消費者との連携を強め、県民に新鮮で安全な畜産物を安定的に供給することを基本として、畜産の生産基盤の充実と経営体質の強化を図ることとしている。

表1 本県畜産物の産出額

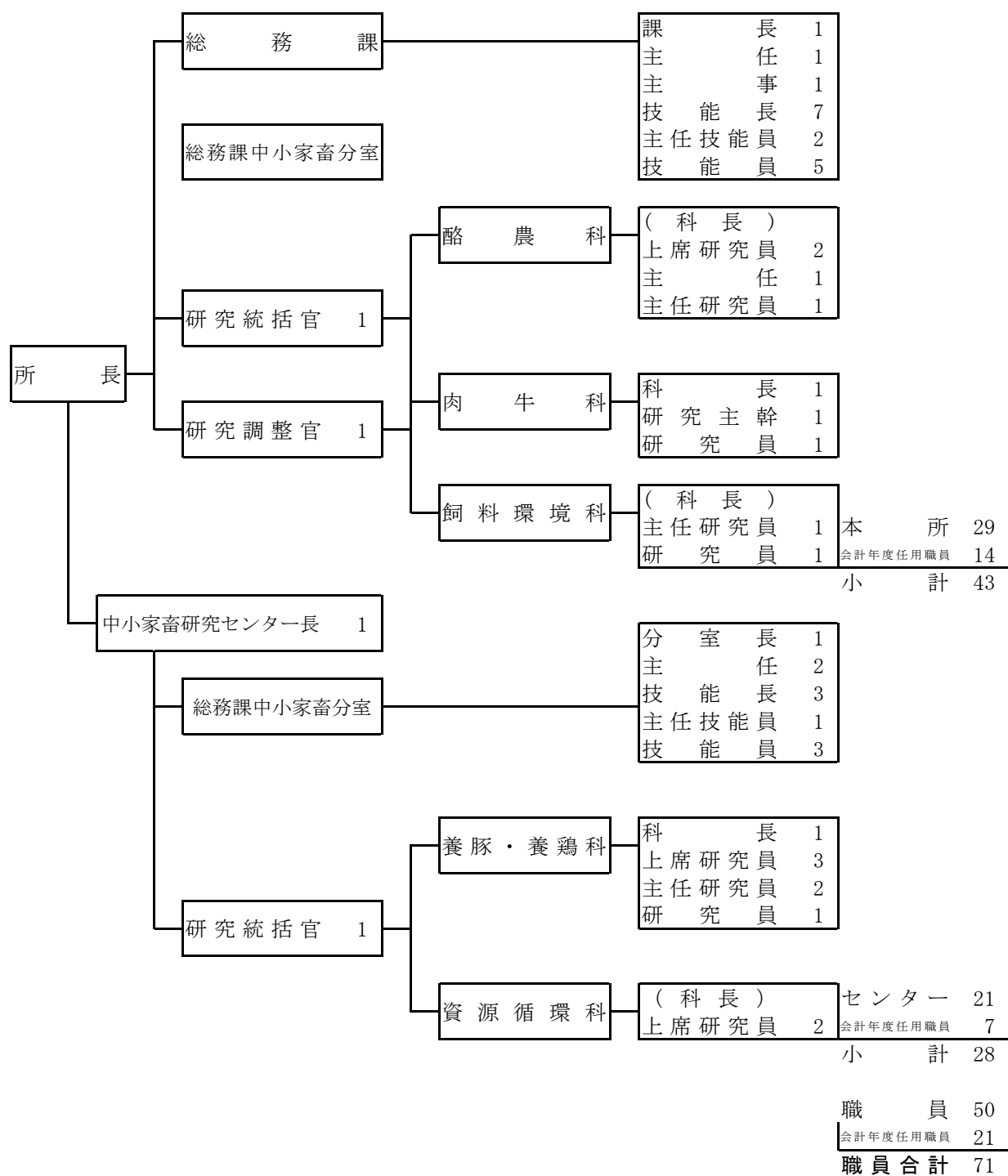
(単位：百万円、%)

年	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他 畜産物	畜産計 (A)	農業合計 (B)	畜産の シェア (A/B)
S50	10,837	5,274	30,145	30,154	337	76,747	278,655	27.5
60	15,915	11,198	24,030	28,250	3,093	82,486	342,368	24.1
H10	12,590	5,960	10,080	14,700	2,550	45,880	289,070	15.9
21	10,700	6,900	5,800	11,500	2,700	37,500	208,600	18.0
22	10,400	7,600	6,000	11,200	2,300	37,500	212,300	17.7
23	9,500	7,300	6,200	13,500	2,600	38,900	212,700	18.3
24	9,900	8,000	6,400	14,600	2,500	41,300	211,400	19.5
25	10,000	7,700	6,600	17,200	3,600	45,100	213,800	21.1
26	10,000	9,000	8,200	19,700	3,300	50,200	215,400	23.3
27	11,000	8,800	7,400	22,000	3,100	52,200	220,400	23.7
28	11,500	8,200	6,300	19,900	3,200	49,000	226,600	21.6
29	11,400	8,100	6,600	19,200	3,200	48,600	226,300	21.5
30	11,300	7,900	6,200	17,700	3,300	46,400	212,000	21.9
R1	11,700	7,600	7,100	16,500	3,200	46,100	197,900	23.3
R2	11,500	7,300	6,800	16,200	3,300	45,100	188,700	23.9
R3	10,800	7,700	5,600	27,100	3,200	54,400	208,400	26.1
R4	10,300	8,500	6,400	25,400	3,600	54,300	213,200	25.5
R5	11,100	9,000	6,200	33,400	3,900	63,700	224,500	28.4
R6	12,200	9,100	7,300	28,000	4,000	60,500	239,600	25.2

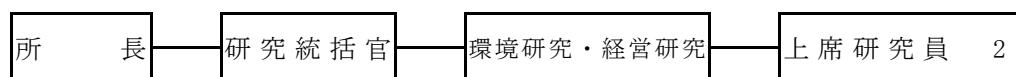
四捨五入のため表示額と合計額が一致しないことがある

資料：農林水産省生産農業所得統計

(3) 組織図
ア 畜産技術研究所



イ 畜産経営環境技術センター (兼務職員 4人)



※ 所長以下4人全員が中小家畜研究センターと兼務している。

2 事業の目的、計画、実績（成果）及び評価、改善

（１）総務事務

ア 組織及び人事管理

畜産技術研究所の組織は本所、中小家畜研究センターで構成され、令和８年５月３１日現在の職員数は本所４３名（会計年度任用職員１４名を含む。）、中小家畜研究センター２８名（会計年度任用職員７名を含む。）である。

職員の配置及び事務分担については、職員の経験・能力、各部署の業務量等を考慮し、適材適所の配置・分担に努めている。

イ 予算経理及び財産管理

予算執行に当たっては、適正、迅速な執行に努めている。また、物品・財産管理についても適切な維持管理に努めている。

ウ 綱紀の保持と交通事故防止

綱紀の保持と交通事故防止について、毎月１回開催する所内連絡会を通じて職員への周知徹底を図っている。

なお、当所は公共交通機関の便が悪いため、本所、中小家畜研究センター共に自家用車での通勤が大半で、加えて業務の性質上、出張は公用車によるものが多い状況にある。

このため、所内連絡会、安全運転管理しずおか（静岡県安全管理協会発行）の所内供覧等を通じて安全運転の周知徹底を図るとともに、「セーフティドライブキャンペーン～チャレンジラリー92～」への参加や「コンプライアンス意見交換会」を通じ、職員一人ひとりの交通安全意識の向上に努めている。

エ 健康管理

職員の健康管理については、定期健康診断、人間ドック、成人病検診等の受診はもとより、情報機器作業従事者検診、ストレスチェック検査についても積極的に受検するよう指導している。

なお、受診後においても健康管理区分に基づく事後指導に参加させ、職員が自ら健康管理に努めるよう指導している。

また、日頃から積極的にコミュニケーションが図れる雰囲気づくりと気軽に何でも相談できる職場環境づくりに努めている。

オ 職員研修

各種研修会・講習会、学会等に積極的に参加することにより、職員の資質、知識・技術の向上を図っている。

〔評価・改善〕

・交通事故防止

監査対象期間内に、公務中の交通事故は２件発生した。

無事故・無違反を目指し、所内連絡会や安全運転管理しずおかの所内供覧、「チャレンジラリー92」への参加などを通じて、職員の交通安全に対する一層の意識の醸成に努めていく。

・労働安全衛生

監査対象期間内に研究員、技能員及び会計年度任用職員による公務災害が3件発生した。

令和4年度に作成した「現場危険作業リスト」を見直して令和7年6月に更新するとともに、新たに総務課の作業を追加して全職員に配布し情報を共有して、職場全体で安全作業に努めている。また、危険事項(箇所や作業)についての意見交換会を実施するとともに、作業安全職場研修会を開催(令和7年6月、12月)して、安全意識の維持高揚を図った。また、災害ゼロ達成のため、今後もヒヤリハット事例の収集や周知、始業前の安全点検の徹底、作業安全講習の受講、定期職場巡視等、一層の安全の確保に努めていく。

また、時間外勤務の縮減と休暇取得の促進を図り、職員の健康管理に努めた。

(2) 試験研究の概要

ア 試験研究の重点方向

畜産技術研究所では、「静岡県食と農の基本計画(2022~2025)」の目標達成に向け、「静岡県の試験研究機関に係る基本戦略」に基づき、以下の3つを2025年度までの研究開発の重点方向としてきた。

- ① 省力化、生産性向上を実現するスマート畜産の推進
- ② 脱炭素化に貢献する環境制御と畜産経営を両立する持続可能な畜産業の推進
- ③ 新たな需要を生み出す新産業創出と畜産物のブランド力向上

なお、令和7年度末に新たな「静岡県食と農の基本計画(令和7~令和10年度)」が策定されたことに伴い、令和8年度からは、以下の3つを令和10年度までの研究開発の重点方向とする。

- ① 畜産農場DXによる生産性向上技術の開発
- ② 需要に応じた高品質な畜産物等の安定生産
- ③ 環境に配慮した持続可能な畜産業の推進

イ 試験研究推進体制

一般試験研究課題の設定においては、農協、生産者団体、行政機関等から提出される「研究要望カード」により、常時、研究要望を受付けている。寄せられた研究要望は、地域での重要性、関連技術等を所内で検討した上で、課題化が必要と判断したものについて研究計画案を作成し、所内研究推進会議(研究アドバイザーの指導・評価)、試験研究機関外部評価委員会(有識者指導・評価)、試験研究調整会議の各段階の承認を経て試験研究課題とすることとしている。また、実施中及び終了後においても、前述の評価を受ける等、研究の効率化を目的としたPDCAサイクルの実施を徹底している。

新成長戦略研究課題については、政策課題の技術的解決を目的として、畜産振興課等の本庁各課とともに研究課題を設定し、試験研究調整会議における選抜を経て試験研究課題化するとともに、前述同様のPDCAサイクルの実施により目標管理しながら県民の負託に応えている。

ウ 研究推進会議の開催状況

所内検討のための研究推進会議を開催し、計画・実施する全ての課題の検討を行う。適正な検討を行うため、畜産技術研究所長は畜産有識者に意見を求め、研究の適正化を図っている。

< 推進会議開催状況 >

(令和7年度)

区 分	開催日	開催内 容	指 導 者
第1回研究推進会議	7月10日	令和8年度に開始する新規試験研究課題(一般研究課題)の検討。	大学教授、 農林事務所農業振興部長
第2回研究推進会議	1月16日	令和7年度実施課題のうち、次年度継続課題の中間評価と今年度終了課題の事後評価、令和6年度に終了し1年経過した課題の追跡調査を実施。	大学教授、 農林事務所農業振興部長

(令和8年度)

(令和8年5月31日現在)

区 分	開催日	開催内 容	指 導 者
第1回研究推進会議	7月7日 (予定)	令和9年度に開始する新規試験研究課題(一般研究課題)の検討。	大学教授、 農林事務所農業振興部長
第2回研究推進会議	1月下旬 (予定)	令和8年度実施課題のうち、次年度継続課題の中間評価と終了課題の事後評価、令和7年度に終了し1年経過した課題の追跡調査を実施。	大学教授、 農林事務所農業振興部長

エ 試験研究要望課題等の処理状況

(令和7年度)

区 分	研究要望カード数			要望課題の処理状況				
	県関係からの要望	農林業団体・生産者等からの要望	計	採 択		不 採 択		
				新規課題設定	既存課題対応	実態把握	現地指導情報提供	その他 注1
乳 牛	0	1	0	1	0	0	0	0
肉 牛	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	0	0	0	0	0	0	0	0
鶏	0	1	1	1	0	0	0	0
飼 料	0	0	0	0	0	0	0	0
環 境	0	0	0	0	0	0	0	0
その他注2	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	1	2	0	0	0	0

注 1) その他は、「現状では課題化が困難」、「事業的業務」、「その他」に該当する要望事項

2) 区分の欄のその他は、複数の畜種を対象にした要望事項

オ 試験研究の重点方向目標別研究課題数

(令和7年度)

研究開発の重点方向	本 所	センター
省力化、生産性向上を実現するスマート畜産の推進	2(4)	1(3)
脱炭素化に貢献する環境制御と畜産経営を両立する持続可能な畜産業の推進	9(13)	2(4)
新たな需要を生み出す新産業創出と畜産物のブランド力向上	2(5)	6(10)
計	13(22)	9(17)

年度期首の課題数	11	9
当該年度の完了課題数	4	4
翌年度新規課題数（評価会提出課題数）	3	1

うち新成長戦略研究課題 本所 1 課題、中小 2 課題

() は当該年度実施細目課題数

(令和8年度)

研究開発の重点方向	本 所	センター
畜産農場 DX による生産性向上技術の開発	2(3)	1(2)
需要に応じた高品質な畜産物等の安定生産	7(10)	6(6)
環境に配慮した持続可能な畜産業の推進	4(6)	2(4)
計	13(19)	9(12)

年度期首の課題数	13	8
当該年度の完了課題数	9	3
翌年度新規課題数（評価会提出課題数）	4	2

うちイノベーション創出研究 本所 0 課題、中小 1 課題(新規)

() は当該年度実施細目課題数

カ 試験研究の評価

産業イノベーション推進課が開催する外部評価委員会において、研究課題の計画の妥当性、進捗状況及び研究の成果等について評価を受ける。

<評価の種類>

- ・事前評価：翌年度の新規研究課題の内容を外部評価委員が評価する。
- ・中間評価：研究課題の進捗状況や研究継続の必要性等を研究期間の中間年度に評価する。
- ・事後評価：研究期間が終了する研究課題の目標達成度や成果等を評価する。
- ・追跡評価：一般試験研究については終了後1年を、新成長戦略研究については終了後3年をそれぞれ経過した研究課題の成果波及効果等を評価する。

○一般試験研究課題

(令和7年度)

区 分	開催日	評価の種類	対象課題数	内訳
事前評価会※	7月25日	事前評価	3	・本所2、中小1
試験研究調整会議 農業・畜産・農地分野会	10月9日	事前評価	3	・本所2、中小1
中間事後評価会※	2月6日	中間評価 事後評価 追跡評価	12	・中間8、事後3、追跡1

※ 外部評価委員15名のうち3名による評価

○新成長戦略研究課題

(令和7年度)

区 分	開催日	評価の種類	対象課題数	評価結果
部長協議	5月20日	事前協議	1	R8 開始予定課題の事前協議
現地指導※2	7月25日	助言・指導	1	R7 実施課題 中小1
第1回研究調整会議	7月31日	一次選抜	1	R8 開始予定課題の一次選抜
現地指導※2	8月8日	助言・指導	1	R7 実施課題 本所1
事前評価会※1	9月11日	事前評価	1	R8 開始予定課題の外部評価
第2回研究調整会議	10月28日	二次選抜	1	R8 開始課題の決定 不採択
追跡調査報告会※1	12月15日	追跡評価	0	R4 終了課題の成果普及状況
事後評価会※1	1月26日	事後評価	2	R7 終了課題の事後評価 本所1、中小1
中間評価会※1	2月18日	中間評価	0	R7 継続課題の中間評価

※1 外部評価委員15名による評価、※2 外部評価委員2名による助言・指導

○新成長戦略研究課題（政策課題枠）

（令和 7 年度）

区 分	開催日	評価の種類	対象課題数	評価結果
政策課題指定枠 部長協議	1 月 30 日	事後評価	1	R7 終了課題 中小 1

○新成長戦略研究課題

（令和 8 年度）

区 分	開催日	評価の種類	対象課題数	評価結果
部長協議	5 月 20 日	事前協議	0	他研究機関の全提出課題が事前 評価会に進む

○イノベーション創出研究（革新枠・ミニ革新枠）

（令和 8 年度）

区 分	開催日	評価の種類	対象課題数	評価結果
事前評価会	4 月 28 日	事前評価	1	R8 開始予定課題の審査 （評価実施者 4 名）
4 役協議	5 月 29 日	審査	1	事前評価結果を踏まえ、4 役協議 で決定 R8 開始予定課題採択 中小 1 （ミニ革新枠）
成果報告会※	3 月 （予定）	外部評価	1	中小 1 （ミニ革新枠）

※外部評価委員 15 名による評価、

[評価・改善]

一般研究課題立案にあたっては、生産者・消費者・流通事業者等から広く意見・要望を聴取し、県民生活向上に貢献する内容となるよう注力していく。新成長戦略研究課題およびイノベーション創出研究課題の立案にあたっては、現状の政策的課題等を解決するために、事業課と調整の上協力して取り組む。

(3) 試験研究及び関連事業の実施状況

ア 酪農科

(ア) 研究方針と研究課題

<研究方針>

当所の持つ乳牛に関する知見やデータを活用し、脱炭素化、疾病の予防と対策、低コスト化、生産性向上に向けた技術開発に取り組む。

<研究課題> (() 内は実施年度、○印は重点研究課題)

- a 乳牛へのコーヒー豆かす給餌による乳質改善効果の検討 (R5-R7)
- b 温室効果ガス (G H G) の放出を抑制する家畜管理技術の開発 (R5-R7)
- c 超音波画像診断装置による難治性乳房炎処置基準の策定 (R6-R8)
- d 説明可能な AI を用いた牛群中での乳牛の序列を決定する要素の解明 (R6-R8)
- e 経済性を指標とした乳用子牛の哺乳技術の検討 (R8-R11)
- ① 肉牛及び乳牛における暑熱対策の検討 (R8-R10)

[評価・改善]

企業や大学等研究機関との共同研究や研究協力を通じて、研究の加速化や成果の実用化を推進している。研究課題 a、b については、得られた成果を学会報告等により普及させる。c については画像の AI 解析の可能性について検討を行う。d については富士工業技術支援センター、福岡大学及び東京電機大学と連携を図りながら進める。

(イ) 関連事業等

a 家畜改良増殖対策事業(牛群検定普及定着化)

乳用牛群検定の普及率向上及び定着化を図るため、(一社)家畜改良事業団のデータを利用して、検定成績の分析を行い、検定実施農家に対して指導を実施している。

[評価・改善]

検定実施農家からの要望に応じて、飼養牛の乳量、乳成分、繁殖成績から、疾病の有無や飼養管理の問題点を推定し、改善方法の指導を行っている。令和 7 年度は分析・指導の要望が無かったことから、検定実施農家では適正な牛群管理が行われているものと推察。

b 試験牛飼養事業 (乳牛)

(R7) 41, 457 千円 (R8) 43, 075 千円

着実な試験研究を推進するため、健康・衛生管理を徹底し、試験研究用乳牛の飼養を行なっている。

[評価・改善]

試験研究用乳牛を供試して、令和 7 年度に酪農科で実施した試験研究 4 課題に必要な健康管理データ、疾病データ及び環境データ等を取得することができ、試験研究の推進に貢献した。

イ 肉牛科

(ア) 研究方針と研究課題

<研究方針>

飼養管理技術および受精卵移植技術等を活用し、本県の持つ優れた肉牛生産技術の一層の発展を支援する。

<研究課題> (() 内は実施年度、○印は重点研究課題)

- ① 採卵成績向上に向けた黒毛和種繁殖雌牛の新たな評価指標及び飼養管理方法の確立 (R4-R8)
- b 温室効果ガス (GHG) の放出を抑制する家畜管理技術の開発 (R5-R7)
- c 定時人工授精技術の改良による受胎率の向上と授精間隔の短縮 (R6-R8)
- d 肉牛及び乳牛における暑熱対策の検討 (R8-R10)

[評価・改善]

研究課題については概ね計画に沿った取組ができた。研究課題 a については県立農林環境専門職大学と協力し、和牛受精卵供給事業を下支えする技術となるよう研究を行っている。令和 8 年度も同様に研究を推進する計画である。

(イ) 関連事業等

a 家畜改良推進事業(遺伝的能力向上対策)

(R7) 90 千円 (R8) 90 千円

県内で飼養される肉用の繁殖用雌牛(黒毛和種)の遺伝的改良を進めるために、市場に出荷された肥育牛の枝肉データや血統データを収集・分析し、血縁関係のある繁殖牛の遺伝的能力評価指標である育種価を求め、それらを基にした改良情報等を農家に提供している。

令和 7 年度は、県内から出荷された肥育牛 32,092 頭の情報をもとに、県内で現在供用されている繁殖用雌牛 244 頭の育種価を算出し、それらを飼養する 32 戸に対して改良情報等を提供した。

[評価・改善]

個別データをもとに育種価を算出し、農家指導に利用している。平成 20 年度から、肥育農家の同意を得て肉用牛枝肉情報全国データベースを活用し、育種価評価を実施しており、育種価判明頭数は順調に増加している。今後も引き続き育種価評価を継続し、県内で飼養される肉用の繁殖雌牛の遺伝的改良を進めていく。

b 受託放牧育成事業

(R7) 5,921 千円 (R8) 5,330 千円

家畜共同育成事業において県内酪農場から天城放牧場(指定管理者:(公社)静岡県畜産協会)へ預託されている乳用種育成牛の一部を再受託し、放牧や繁殖関係の研究を行っている。

令和 7 年度は、4 月上旬から放牧を開始し、月 2 回の衛生検査を行い、発育・健康状態の確認及び繁殖管理を実施した。受託した育成牛 41 頭のうち、34 頭が人工授精で受胎した。3 回の人工授精を行い不受胎であった育成牛 6 頭は不受胎を確認後に天城牧場に移動して自然交配を実施した。1 頭は酪農家の希望により人工授精前に退牧となった。

○放牧育成頭数

(令和7年度)

	繰越	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 牧	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	※7
退 牧	-	0	1	1	0	1	2	5	10	5	6	6	0	37
在場頭数	-	40	39	38	38	37	35	30	20	15	9	10	10	10

※令和6年度からの繰越頭数40頭を含む(令和7年度新規入牧41頭)

○放牧育成頭数

(令和8年5月31日現在)

	繰越	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 牧	10	5	0											※5
退 牧	-	2	0											2
在場頭数	-	13	13											13

※令和7年度からの繰越頭数10頭(令和8年度新規入牧予定20頭)

[評価・改善]

発育について、令和7年度の入牧時平均体重は226.4kgで、令和6年度(286.4kg)より60kg少なかった。また、令和7年度の平均受託期間は383.6日で、令和6年度(262.6日)より121日延長した。これは受託開始月齢を11ヶ月齢から8ヶ月齢に早めたためである。

退牧時平均体重は566.3kgで令和6年度(542.4kg)より23.9kg増加した。今後も引き続き増体の良い飼養管理を行う。

繁殖成績について、令和7年度は研究課題cを実施し、人工授精により延べ37頭が受胎し、受胎率は48.1%で、令和6年度(61.4%)より13.3%低下した。これは放牧馴致を開始したことで環境変化ストレスのかかる4月や、気温が大幅に上昇し始め暑熱ストレスのかかる7月に受胎率が低下したためである。令和8年度は4、7月の人工授精後2週間を舍飼いとするこことでストレス負荷の軽減を図る。

c 家畜改良推進事業(家畜人工授精師養成講習会)

県立農林環境専門職大学学生及び県内畜産業従事者等を対象に、家畜改良増殖法に基づく家畜人工授精師(牛・豚)の養成講習会(前期・後期)を下表のとおり行った。当所では8月4日～8月6日に前期講習会を、8月26日～9月2日に後期講習会を実施した。

年度	区 分	受講者	合格者
R7	家畜人工授精師(牛・豚)	19人	19人

(注) 令和8年度は後期講習を令和8年8～9月に実施予定

[評価・改善]

令和7年度の受講者は、同専門職大学学生や畜産業従事者19人(牛:9人、豚:10人)全員が合格し、農業後継者育成に貢献した。令和8年度は同専門職大学学生を対象に講習会を開催する予定である。

d 和牛受精卵供給事業

(R7)5,848 千円 (R8)5,512 千円

県産和牛の安定生産を図るために、所内で飼養している黒毛和種繁殖牛から受精卵を採卵し、遺伝的能力の高い和牛受精卵について、令和2年度から静岡県和牛改良推進協議会を通じて県内酪農家に供給している。令和7年度の受精卵採卵実績は、黒毛和種繁殖牛延べ30頭から127個(※)の受精卵を採取し凍結保存した。同協議会を通じて令和7年度は120個、令和8年度は89個(過年度採卵分を含む)を県内の酪農家に供給した。

※令和7年度に採卵した159個の受精卵のうち、低級な卵を除いた127個を和牛受精卵供給事業の対象とした。

[評価・改善]

令和8年度は今後86個(合計175個)を供給する予定で、引き続き、乳牛を利用して優良和牛子牛の増産を図り、県内黒毛和種の品質向上と肥育素牛の安定供給を支援する。

e 試験牛飼養事業(肉牛)

(R7)14,020 千円 (R8)12,743 千円

試験研究に利用する肉用牛の飼養管理・生産技術の実証を行う。

[評価・改善]

試験課題aにおいて、繁殖牛から効率的に受精卵採取するための要因を解析し、遺伝的要因及び栄養的要因との関連性が認められた。また、研究課題bにおいて、肥育牛へ茶殻を給与することにより、GHG削減が認められた。研究課題cにおいて、ホルモン製剤投与量の増量により受胎率向上が認められたため、令和8年度も引き続き調査を進め、効果を検証する予定である。

ウ 飼料環境科

(ア) 研究方針と研究課題

<研究方針>

大家畜経営を行う上で重要となる自給飼料生産技術や家畜排せつ物の処理技術について、当所の持つ広大な草地を活用した技術開発に取り組む。

<研究課題> (() 内は実施年度○印は重点研究課題)

- a 越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発(R4-R8)
- ㊦ 温室効果ガス(GHG)の放出を抑制する家畜管理技術の開発(R5-R7)
- c 静岡県におけるシバ型草地の早期造成技術の開発(R5-R7)
- ㊧ 特定外来生物アレチウリの新たな防除技術の開発(R7-R9)
- ㊨ 生物多様性と農業生産を脅かす侵略的外来種の根絶技術の確立(R7-R8)
- f 農地への炭素固定と有機栽培可能な農地転換を両立する”高機能バイオ炭”の研究開発(R8)
- g 牧草飼料作物の品種選定に関する試験(R5-R7、R8-R11)
- h 飼料作物奨励品種選抜試験(R5-R7、R8-R10)
- i 牧草地・飼料畑除草剤実用化試験(R7、R8)

[評価・改善]

研究課題については概ね計画に沿った取組ができた。研究課題bでは、堆肥化処理における GHG 削減と自給飼料増産による輸入飼料由来の GHG 削減につながる作型の開発に取り組み、堆肥化過程における GHG 削減方法として茶殻やコーヒー豆かすの活用が有用であることを示した。今後は、農林事務所と連携して現地実証試験を行うなど、成果の普及・活用を図る。研究課題dおよびeは、特定外来生物に指定されている飼料畑の難防除雑草アレチウリの防除に関する課題である。畜産農家の関心が高い内容であり、得られた知見や開発した技術について、積極的な発信に努め、生産現場に向けたアピールを行う。

(イ) 関連事業等

- a 飼料生産推進事業(飼料自給率向上推進) (R7)49 千円※決算 13 千円 (R8)55 千円

大家畜経営の基礎となる自給粗飼料の効率的生産・調製・貯蔵及び利用技術の普及を行うとともに飼料分析事業を推進し、農家における飼料給与に関する技術指導を行った。

○ 自給飼料分析指導部門での粗飼料分析件数 (令和8年5月31日現在) (単位: 件)

粗飼料の種類	令和7年度	令和8年度	備 考
コーンサイレージ	3	3	スーダングラスを含む
ソルガムサイレージ	0	0	
グラスサイレージ	2	6	
牧 乾 草	2	2	
稲 W C S	3	2	
合 計	10	13	

[評価・改善]

当所は昭和60年10月より自給飼料分析センターとして位置づけられており、自給飼料を生産・利用する畜産農家の飼料の評価及び指導を行って農家の要望に対応するとともに、農林事務所が実施する普及課題の推進に協力した。令和7年度の分析件数は、農林事務所の普及課題に関する分析が減少したことと、機器の故障により分析可能な項目が大幅に制限されたため、令和6年度(21件)より減少した。

- b 試験牛自給飼料生産事業 (R7)12,536 千円 (R8)10,816 千円

所内試験牛及び受託放牧牛の自給粗飼料生産・調製を行い、粗飼料の確保を図るとともに、自給粗飼料生産の実証展示を行った。

○ 自給粗飼料生産量 (令和8年5月31日現在) (単位: t)

区分 利用形態	令和7年度		令和6年度	令和8年度		備 考
	乾物換算量	生産量	対比(%)	乾物換算量	生産量	
放 牧 生 草	40	202	107	集計中	集計中	4月から放牧
ロールサイレージ(コーン)	82	252	125	-	-	
ロールサイレージ(グラス)	258	640	91	集計中	集計中	
合 計	380	1,094	100	集計中	集計中	

※生産量ベース

[評価・改善]

当所産粗飼料の自給率は、例年概ね80%である。令和7年度の自給粗飼料生産量は、令和6年度と同程度であった。コーンは台風被害を回避でき、病害の発生が少なかったことにより収穫量は25%増収となった。今後も草地の肥培管理や病害対策を徹底し、飼料用トウモロコシなどの高栄養多収作物の栽培面積を確保して栄養収量の確保に努める。

- c 資源循環型畜産推進事業(家畜排せつ物利活用促進対策) (R7)14千円 (R8)14千円

家畜ふん堆肥の広域的な流通を促進するため、前出の自給飼料分析センターの業務として行う家畜ふん堆肥の成分分析等を通じて、堆肥生産者及び利用者への技術指導を行った。

○ 牛ふん堆肥簡易診断システム堆肥分析件数 (令和8年5月31日現在)(単位:件)

堆肥の種類	令和7年度	令和8年度	備 考
乳 牛	1	0	<分析項目> 水分・pH・EC 等
肉 牛	0	0	
その他の堆肥	0	0	
合 計	1	0	

[評価・改善]

令和4年度以降は、堆肥の成分分析を主体とした指導から堆肥の生産や流通に関する技術支援に重点を移しており、茶農家と畜産農家等で構成する富士山麓畜産堆肥利用促進協議会の耕畜連携の取組の推進等に貢献している。今後も、農林事務所・家畜保健衛生所と協力し、家畜ふん堆肥の流通・利用の促進を図る。

- d 農薬適正使用管理体制強化事業(肥飼料指導費) (R7)44千円 (R8)0千円

広域に流通する飼料の安全性と品質を確保するため、「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」及び「農薬取締法」に基づき、飼料の安全性に関する情報収集を行うとともに、飼料の分析体制維持に必要な技術を確保するため、全国飼料品質改善協議会が実施する共通試料による分析鑑定に参加した。

[評価・改善]

共通試料による分析鑑定(水分・粗タンパク・粗灰分)では、分析機器の不調により、水分についてのみ参加した。引き続き飼料の安全性に関する情報収集を継続するとともに、飼料の分析体制維持に必要な技術および機器の更新・修繕予算の確保に努める。

- e 畜産物流通推進事業(畜産振興推進事業) (R7)8千円 (R8)8千円

大規模畜産農家の経営安定のための技術指導及び静岡県草地畜産振興連絡協議会が行う事業に対する助言指導を実施した。

[評価・改善]

酪農家の要望に応じ、牧草地の施肥管理や雑草対策、堆肥の水分調整などについて技術指導を行った。今後も酪農家畜産技術や経営に関する情報収集及び技術開発に努め、最新の情報を用いて指導を実施する。

エ 養豚・養鶏科

(ア) 研究方針と研究課題

<研究方針>

遺伝子解析等の技術により、種豚・種鶏の開発と付加価値の高い豚肉・鶏肉の生産技術の確立を進める。また、ヒトの医療へ貢献するものとして医療用に特化した実験ブタの実用化を進める。

<研究課題> (() 内は実施年度、○印は重点研究課題)

- a 駿河シャモ系統の長期維持を図る育種改良と始原生殖細胞の保存 (R3-R7)
- b 静岡型ブタアイソレーターシステムの利用拡大に向けた飼養管理技術の確立 (R4-R8)
- c 養豚産業を支える種豚の遺伝資源保存技術の確立 (R5-R7)
- d 筋ジストロフィーブタに関する繁殖及び生産 (R5-R7)
- e 新しい交配方法で生産されたフジキンカの種豚選抜基準の確立 (R5-R9)
- f DXを活用したスマート養豚の構築 (R6-R7)
- g 系統豚「フジョーク 2」の遺伝資源保存に向けた集団の特性評価 (R7-R9)
- h 動画解析技術を用いた豚精液の迅速判定アプリの基盤プログラムの開発 (R8)
- i 種豚の遺伝資源保存・個体復元技術開発事業 (R8-R9)
- j 筋ジストロフィーミニブタの効率的な生産技術の確立 (R8-R10)
- k 鶏始原生殖細胞を用いた駿河シャモの迅速復元技術の確立 (R8-R12)

[評価・改善]

研究課題については、概ね計画に沿った取組ができた。研究課題 c は、大学等研究機関と協力し、災害時の養豚産業の回復に貢献する豚受精卵保存技術の実用化に向けて、経膈採卵技術と受精卵凍結技術を軸に一連の工程を体系化した。研究課題 i により更に技術を向上させる。研究課題 f は企業等と連携し養豚の暑熱対策技術等を開発した。

(イ) 関連事業等

a 銘柄豚供給事業

センターは、昭和 62 年から全国に先駆けて SPF 豚（特定病原菌不在豚）による系統造成を開始した。平成 22 年に「フジョーク」（大ヨークシャー種）の後継系統豚の「フジョーク 2」が系統造成豚として認定され、平成 28 年度には「フジロック」（デュロック種）の後継系統豚として産肉性を強化した「フジロック 2」が認定され、平成 29 年度から供給を開始した。センターでは「フジョーク 2」と「フジロック 2」を静岡型銘柄豚普及推進協議会に供給し、静岡型銘柄豚「ふじのくに」の生産を普及推進している。

また、「フジロック 2」と金華豚の長所を併せ持った高品質豚肉である「フジキンカ」を作出し、平成 22 年 6 月から原種豚や種豚を静岡県フジキンカ普及推進協議会へ供給している。

フジヨーク 2・フジロック 2・フジキンカの維持及び売り払い状況（令和 8 年 5 月 31 日現在）

銘柄名	開発時期	センターで 保有する 原種の頭数	売払状況					
			令和 7 年度			令和 8 年度		
			種豚		精液	種豚		精液
			戸数	頭数	本数	戸数	頭数	本数
フジヨーク 2	平成 22 年	おす 15 頭 めす 30 頭	3	14	15	1	1	5
フジロック 2	平成 28 年	おす 10 頭 めす 30 頭	8	21	84	0	0	2
フジキンカ	平成 22 年	おす 5 頭 めす 10 頭	3	11	0	2	9	0

[評価・改善]

「フジヨーク 2」は静岡型銘柄豚生産母豚の基礎豚として、「フジロック 2」は同銘柄豚生産雄豚として計画的に配布されている。

静岡型銘柄豚については、令和 7 年度の認定生産農家が 4 戸、銘柄豚の生産頭数が約 15,000 頭である。今後も、銘柄豚生産農家の維持と、静岡県の子豚生産の素材豚としての利用を進めていく。

フジキンカは高級豚肉として高い評価を受けており、令和 7 年度には 4 生産グループで約 2,000 頭が出荷されている。

b 銘柄鶏供給事業

センターは、特色ある畜産物として、平成元年に肉質の優れた特産鶏「駿河シャモ」を作出し、静岡県駿河シャモ振興会へ供給している。

駿河シャモの維持及び売り払い状況

（令和 8 年 5 月 31 日現在）

銘柄名	開発時期	センターで保有する 原種の羽数	売払状況			
			令和 7 年度		令和 8 年度	
			戸数	羽数	戸数	羽数
駿河シャモ	平成元年	おす 50 羽 めす 300 羽	6	8,930	4	1,320

[評価・改善]

静岡県駿河シャモ振興会会員の飼育計画に基づき計画的に供給し、銘柄鶏「駿河シャモ」の振興に寄与している。現在、飼育農家は 6 戸で、高級食材として県内外の料理・飲食店等からの要望が多く、令和 7 年度は 8,930 羽を出荷した。

ブロイラーに比べて長期間の飼育が必要であり、肉質にこだわった特産鶏であるため、規模拡大や大規模農家の参入が難しい面があるが、特徴のある地鶏の生産振興を支援していくため、振興会への安定的な種卵の供給に努めていく。

c 実験用ブタ供給事業

静岡県は大ヨークシャー種の子豚を、専用の施設、管理方法で飼育した実験用ブタ「SHIZUOKA EXPIG（シズオカエクスピッグ）」（商標登録済）を開発した。令和元年度から県内実験動物企業を通じて県内外へ供給している。なお、種豚は上記フジヨーク 2 と共通である。

SHIZUOKA EXPIG の維持及び売り払い状況

（令和 8 年 5 月 31 日現在）

銘柄名	開発時期	センターで保有する 原種の頭数	売払状況	
			令和 7 年度	令和 8 年度
			頭数	頭数
SHIZUOKA EXPIG	令和元年	おす 15 頭 めす 30 頭	13	0

[評価・改善]

実験動物学会等で普及活動を行った結果、販売先の拡大につながった。実験動物としてのブタの需要が増加しており、「SHIZUOKA EXPIG」も、医科系大学を中心に購入希望が続いている。今後、民間企業に生産を移譲するなどして、供給拡大を進める計画である。

オ 資源循環科

（ア）研究方針と研究課題

<研究方針>

悪臭低減、畜産廃水処理等の畜産環境対策技術を開発する。

<研究課題>（（ ）内は実施年度）

- a 活性汚泥処理の最適化と新規窒素除去反応アナモックスの利用による畜産廃水処理技術の高度化（R4-R8）
- b 豚舎における脱臭装置利用マニュアルの作成（R6-R8）

[評価・改善]

研究課題については、概ね計画に沿った取組ができた。研究課題 a は畜舎排水の低コストな窒素低減技術として農場実証研究によるシステムの実用化に取り組んでいる。

カ 畜産経営環境技術センター

畜産経営環境の保全等を推進するため、堆肥化・廃水処理施設整備の技術支援、良質堆肥生産技術の向上、悪臭等の畜産環境問題の解決に向けた技術支援指導を実施してきた。

○ 技術指導等の実績

（令和 8 年 5 月 31 日現在）（単位：件）

区 分	令和 7 年度	令和 8 年度	備 考
施設整備等に係る技術支援	30	4	
市開催畜産環境協議会での技術指導	0	0	

キ 試験研究企画調整

(R7)482 千円 (R8)591 千円

畜産技術研究所（本所・センター）の試験研究課題の的確な設定および推進をするために、試験研究の企画調整、進捗管理を実施している。

（４）試験研究成果一覧表

畜産研究費 研究費 研究費 研究費

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究 成果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
畜産農場DXに よる生産性向 上技術の開発	超音波画像診断 装置による難治 性乳房炎処置基 準の策定 ・エコー画像に よる難治性乳房 炎の病態調査 ・エコーを用い た難治性乳房炎 処置基準の策定	継続	単独	R6-R8 (R6-R8) (R7-R8)	乳牛で罹患する ことの多い乳房 炎について、従 来の検査に加え 、超音波画像 診断装置を利用 して診断を行う ことで、より詳 細な病態把握を 行い、早期の処 置につなげる。	発症から10日目付近 のエコー画像を、治 癒症例、再発症例で 比較すると差が見ら れた。10日目付近の エコー画像から再発 リスクを判断できる 可能性がある。	超音波診断画像に よる難治性乳房炎 の診断マニュアル を作成し、乳房炎 診療の一助とす る。 日本動物超音波研 究大会において、 産業動物獣医師に 対し情報発信を行 った。	無	千円 (1,745) 1,117	千円 (2,862) 1,117	
	説明可能なAIを 用いた牛群中で の乳牛の序列を 決定する要素の 解明	継続	国庫 共同	R6-R8	説明可能AI(xAI) を活用して、乳 牛の序列判定に 重要な要因(特 徴量)を解明す る。	乳牛の序列判定に必 ず必要な特徴を選 定し、牛の画像から 、体型を定量的に 評価する枠組みを 構築した。	自動で牛群の序列 を診断すること で、牛のストレス を緩和し、生産性 を向上させる。	無	(910) 195	(1,040) 130	富士工技 セ、大学

脱炭素化に向けた畜産の持続可能な推進

(令和8年5月31日現在)

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
＜本所＞	脱炭素化に向けた畜産の持続可能な推進	終了	共同	R5-R7	乳牛・肉牛の飼養管理、ふん尿処理、飼料生産の各工程でGHG削減技術を開発する。	牛への茶殻やコーヒー豆かす由来バイオ炭の給与により、呼吸中のCH4を7～10%抑制できた。牛糞の堆肥化工程でギンナン果肉添加によりCH4発生量の約70%、茶殻添加により58%削減、2回目の切り返し時のコーヒー豆かす添加により、N2O発生を55%削減できた。	農場から発生する温室効果ガスを20%削減する技術を開発し、県内産畜産物による温室効果ガス削減商品市場を開拓する。バイオ炭の飼料化については、後継の研究課題において検証を続け、バイオ炭に付加価値をつけることで普及を推進する。	無	(48,000) 8,000	—	(新成長)、静岡県経済連

式 験 究 農 業 景 観

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
脱炭素化に貢献する環境経営を両立する畜産の推進	乳牛へのコーヒ豆かす給餌による乳質改善効果の検討 ・コーヒ豆かす給餌方法と効果の検証 ・一般農場でのコーヒ豆かす給餌効果の実証	終了	共同	R5-R7 (R5-R6) (R7)	乳牛へのコーヒ豆かす給餌による乳質改善効果の検証 ・コーヒ豆かす給餌方法と効果の検証 ・一般農場でのコーヒ豆かす給餌効果の実証	乳牛にコーヒ豆かすを給与することによって、乳房炎の指標となる細胞数を低減させることを一般農場の牛群で検証する。 乳牛にコーヒ豆かすを給与することによって、乳房炎の指標となる細胞数を低減させることを一般農場の牛群で検証する。 乳牛にコーヒ豆かすを給与することによって、乳房炎の指標となる細胞数を低減させることを一般農場の牛群で検証する。	牛のストレスを緩和し、生産性を向上させる。 農家向けの講演を実施。	無	(1,688) 786	—	民間企業、大学
	静岡県におけるシバ型草地の早期開発	終了	単独	R5-R7	維持管理が容易なシバ型草地の転換を促すため、県内に可能なシバ型草地の早期造成技術を開発する。	開発したシートペレットにより、播種量2 kg/10aで傾斜放牧地であるこの程度まで確認できた。 センチュリードグラスとバミューダグラスが3年目まで持続したが、気温が極端に低下した場合の越冬性に課題があった。	シバ型草種の越冬性に関する知見が得られたので、農林事務所や生産者団体と連携し、放牧の推進や暑熱期対策技術の一つとして酪農家への普及を図る。	無	(3,828) 1,428	—	

試験研究費一覧

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
脱炭素化に貢献する環境経営の推進	飼料作物の選定に関する試験 (系統適応性試験) ・オーチャードグラス	終了	国庫受託	R5-R7	県外指定試験地で育成された牧草系統の地域適応性を検討する。	オーチャードグラス2系統（既存奨励品種アキミドリⅡ、新奨励品種きよはら）について実施したところ、新奨励品種は既存の奨励品種と同等の収量性が確認できた。	新奨励品種を奨励品種候補とする。	無	(330)110	—	(一社)日本草地畜産種子協会
	飼料作物奨励品種選抜試験 ・飼料用トウモロコシ	終了	単独	R5-R7	優良品種の選定試験を行い、県奨励品種の早期普及を図る。	飼料用トウモロコシ4系統について実施した。	引き続きデータを取得する必要があるため、試験を継続する。	無	(2,767)920	—	
脱炭素化に貢献する環境経営の推進	牧草地・飼料畑除草剤実用化試験	終了	受託	R7	飼料作物に対する除草剤に関する調査・新法の実用化により自給飼料作物の生産性向上を図る。	飼料用トウモロコシ播種前に施用する除草剤1種、牧草地更なる除草剤の効果を検証する。	報告したデータは各メカカーにおいて農薬の新規登録や適用拡大のため基礎資料として活用される。	無	(484)484	—	(公財)日本植物調節剤研究協会

試 験 究 査 農 業 研 究 費 使 途 明 細 表

＜本所＞ (令和8年5月31日現在)

事業名 区分	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事 業 費		備 考			
									(前年度 まで)	(全 本年度)				
需要に応じた畜産物の安定生産	採卵成績向上に向けた黒毛和種繁殖雌牛の新たな評価指標及び飼養管理方法の確立 ・採卵における新たな遺伝的能力推定法の検討 ・代謝プロファイルテストと採卵成績との関連性調査 ・遺伝的能力と代謝プロファイルテストを指標とした給与飼料調整による採卵成績向上の実証	継続	共同	R4-R8	和牛の受精卵生産に係る遺伝的能力を把握し、代謝プロファイルを活用して受胎率を向上させる。	・血中抗ミュラーホルモンの状態と卵胞数の関係を確認し、代謝プロファイルテストにおいて、VA、TP、BUN/Gluが一定範囲内にある場合に採卵成績が良い傾向が見られた。 ・過剰排卵処置前の栄養成分補給（VA、配合飼料）により採卵成績向上を確認した。	採卵成績向上手法を所内および県内関係機関で活用し、受精卵供給による肥育牛増産を支援する。	無	(6,973) 2,226	(9,199) 2,226	農林環境専門職大 学			
				(R4-R5)										
				(R4-R5)										
				(R5-R8)										

試 験 研 究 成 果 一 覧

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研 究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
需要に応じた畜産物の安定生産	定時人工授精技術の改良による受胎率の向上と授精間隔の短縮(R6-R8) ・黄体機能補強による受胎率向上の検討 ・Resynchによる授精間隔短縮の検討	継続	単独	R6-R8 (R6-R8) (R6-R8)	乳用牛の生産開始までの長期化を防ぐため、人工授精後のホルモン処置、早期妊娠診断、定時人工授精プログラムの組み合わせ、受胎月齢の早期化を目指す。	人工授精後12日目に試験牛以外にも受胎率の向上を目的としたホルモン剤投与を実施している。		無	(2,056) 1,131	(3,187) 1,131	
	需要に応じた畜産物の安定生産 (※～R7:脱炭素化に貢献する環境制御と畜産経営を両立する持続可能な畜産の推進)	継続	国庫 共同	R4-R8	夏季の高温障害による夏枯れに対し、優良品種を導入した草地更新による生産性向上を図る。	試験中の新規イタリエンライグラス型ファーストロリウム系統は越夏性に優れ、年間収量が多い事が示唆された。	粗飼料自給率向上のため、追播等による草地メンテナンス技術のマニキュア化して普及する。	無	(5,700) 1,400	(6,780) 1,080	イノベ事業 04018C2 コンソーシアム (農研機構、5県等)

試 験 究 査 一 覧 表

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の有無及 び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
需要に応じた畜産物の安定生産	肉牛及び乳牛に肉用性・乳用性を高めるための暑熱対策の検討 ・効率的な冷却方法の検討 ・飼料を利用した暑熱ストレスの軽減効果の検証	新規	単独	R8-R10 (R8-R9) (R9-R10)	温暖化に対応し、生産性を維持するための暑熱対策技術を開発する。牛体冷却技術および抗酸化性資材給与の暑熱ストレス軽減効果を検討し、低コスト暑熱対策技術を構築する。	—	—	—	—	(1,069) 1,069	
	需要に応じた畜産物の安定生産	新規	共同	R8-R11	哺乳方法が子牛の生育及び産乳時の経済性に与える影響を評価し、経済性に優れた哺乳技術を構築する。	—	—	—	—	(1,202) 1,202	民間企業
需要に応じた畜産物の安定生産	牧草飼料作物の品種選定に関する試験(系統適応性試験) ・トールフェスク ・エンバク	新規	国庫 受託	R8-R10	県外指定試験地で育成された牧草系統の地域適応性を検討する。	エンバクとトールフェスクの2品種について、それぞれ2系統(既存奨励品種および新品種)について特性を調査する。	本県導入時における栽培技術確立に寄与する。	無	—	(154) 154	(一社)日本草地畜産種子協会

試 験 究 果 一 覧

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(全体 本年度)	
需要に応じた畜産物の安定生産	飼料作物奨励品種選抜試験 ・飼料用トウモロコシ	新規	単独	R8-R10	優良品種の選定試験を行い、県奨励品種の早期普及を図る。	飼料用トウモロコシ4系統について実施する。	優良な品種を奨励品種に選定し普及を図り、自給飼料の増産に資する。	無	—	(873) 873	
環境に配慮した持続可能な畜産の推進 ※(～R7:脱炭素化に貢献する畜産経営を両立する持続可能な畜産の推進)	特定外来生物アレチウリの新たな防除技術の開発	継続	単独	R7-R9	アレチウリの種子、花芽及び植物体それぞれに対応する実用的なアレチウリ防除技術を開発する。	出芽抑制に有効な石灰窒素散布量、花芽抑制すること、長期間耕作放棄地の復活と自給飼料の収量および品質向上が期待される。	強害雑草の発生を抑制すること、耕作放棄地の復活と自給飼料の収量および品質向上が期待される。	無	(1,042) 1,042	(2,042) 1,000	
環境に配慮した持続可能な畜産の推進 ※(～R7:脱炭素化に貢献する畜産経営を両立する持続可能な畜産の推進)	生物多様性と農業生産を脅かす侵略的外来種の根絶技術の確立	継続	国庫 共同	R7-R8	ほ場や自然植生に侵入する特定外来生物アレチウリの根絶技術を開発する。	牧草地における除草剤による防除効果の検討および防除に有用な病原性微生物の探索および採取評価を行う。	アレチウリの根絶が可能になることで、自給飼料の増産と、雑草被害の拡大防止に寄与する。	無	(2,000) 2,000	(2,800) 800	BRIDGE (農研機構、県、民間企業等)

式 究 農 一 景

(令和8年5月31日現在)

<本所>

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究 成果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備考
									(前年度 まで)	(令和8年度 まで)	
環境に配慮した持続可能な畜産業の推進	研究テーマ (細目) 研究内容	新規	受託	R8	飼料作物に対する除草剤の効果・害を調査し、新たな除草剤の使用法の実用化を図る。	新規の飼料用トウモロコシについて、登録剤の取得に必要なデータを取得する。	報告したデータは各メーカーにおいて農薬の新規登録のための基礎資料として活用される。	無	—	(209) 209	(公財) 日本植物調節剤研究会
	環境に配慮した持続可能な畜産業の推進	新規	国庫 受託 共同	R8	高機能バイオ炭堆肥製造の付加価値向上を図る。	製造時に高機能バイオ炭（有用微生物を添加した堆肥）の品質と製造コストに関するデータを取得する。	得られたデータにより、高機能バイオ炭を添加した堆肥の施用基準が確立され、家畜ふん堆肥の利用拡大に寄与する。	無	—	(2,364) 2,364	民間企業、大学

式 験 究 果 一 覧

(令和8年5月31日現在)

< 中小家畜研究センター >

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研 究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(平成 年度) 前年度	(令和 年度)	
省力化、生産 性向上を実現 するスマート 畜産の推進	DXを活用したス マート養豚の構 築	終了	共同	R6-R7	DX技術による自 動環境制御で環 境モニタリング と連動した豚舎 内温湿度自動管 理システムの構 築し、暑熱被曝 を軽減すること で生産性の向上 を目指す。また 、臭気予測シス テムを構築し地 域全体の脱臭 対策の推進を図 る。	豚舎内温湿度環境と 豚母豚暑熱対策を自動 化し、肥育豚の出荷日 数短縮、離乳頭数増 加等生産性の向上を 確認した。臭気予測 システムで市街地等 への臭気拡散を検知 し、臭気予測システ ムを構築した。	開発した技術につ いては市町村、企 業と連携して普及 を図る。	無	(8,200) 1,500	—	(新成 長) 民間企 業
	・豚舎内温湿度 管理システムの 構築			(R6-R7)							
	・母豚の暑熱対 策システムの構 築			(R6-R7)							
	・臭気予測シス テムの構築			(R6-R7)							

式 験 究 果 一 量

＜中小家畜研究センター＞

(令和8年5月31日現在)

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(課 費まで) 前年度	(全 本 年度)	
畜産農場DXに よる生産性向 上技術の開発	動画解析技術を用いた豚精液の 迅速判定アプリ の開発 ・AIモデルによ る希釈濃度予測 に必要な特徴量 選定およびデー タセット作成 ・特徴量抽出手 法の開発および 希釈濃度推定モ デルの構築	新規	共同	R8 (R8) (R8)	豚の人工授精の ために採取した 精液の検査は、 従事者の経験に 左右され希釈濃 度にばらつきが 生じやすい。動 画解析により生 産現場で高濃度 な原液精液を客 観的かつ迅速に 評価する基盤ブ ログラムの開発 する。	—	開発した基盤プロ グラムをスマート フォンアプリの開 発につなげ、養豚 場での人工授精の 安定化に寄与す る。	無	—	(1,000) 1,000	(イノ ベーション創 出研究)

式 験 究 果 一 量

＜中小家畜研究センター＞

(令和8年5月31日現在)

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(平成 年度) 前年度	(令和 年度)	
新たな需要を生み出す新産業創出と畜産物のブランド力向上	駿河シヤモモ系統の長期維持を図る育種改良と始原生殖細胞の保存	終了	単独	R3-R7 (R3-R5) (R4-R7) (R3-R7)	県内養鶏農家及び消費者に対して、将来にわたって安定的に駿河シヤモモを供給するため、血縁の初期胚から採取し、他のシヤモモ系統へ移植し、キメラ種を導入し、駿河シヤモモ系統の長期維持を行う。	駿河シヤモモの継続的な生産により消費者への安定供給に貢献する。また、遺伝資源保存方法の確立による災害後の復元が可能になる。	無		(2,339) 313	—	
	新養豚産業を支える種豚の遺伝資源保存技術の確立	終了	共同	R5-R7 (R5-R7) (R5-R7) (R6-R7)	自然災害や海外悪性伝染病に対する備えとし、有用な種豚の遺伝資源の保存のため、種豚場での受精卵保存技術を開発する。	経膈採卵技術と凍結保存技術の確立により大量採卵・大量保存が可能にし、採卵から移植まで一連の工程を体系化した。ニッチな受精卵保存技術を開発する。	科学的知見については、関連学会で発表を行う。特許出願「ブタ胚のガラス化保存方法及びその林事務所と連携して行う技術の普及を行う。」	有	(50,000) 15,000	—	(新成 長) 民間企 業、大 学
	種豚の遺伝資源保存技術の確立	終了	共同	R5-R7 (R5-R7) (R5-R7) (R6-R7)	自然災害や海外悪性伝染病に対する備えとし、有用な種豚の遺伝資源の保存のため、種豚場での受精卵保存技術を開発する。	経膈採卵技術と凍結保存技術の確立により大量採卵・大量保存が可能にし、採卵から移植まで一連の工程を体系化した。ニッチな受精卵保存技術を開発する。	科学的知見については、関連学会で発表を行う。特許出願「ブタ胚のガラス化保存方法及びその林事務所と連携して行う技術の普及を行う。」	有	(50,000) 15,000	—	(新成 長) 民間企 業、大 学

式 験 究 果 一 量

＜中小家畜研究センター＞

(令和8年5月31日現在)

事業名	区分	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の有無 及び内容	事業費		備 考
										(前年度 まで)	(令和 本年度)	
新たな需要を生み出す新産業創出と畜産物のブランド力向上		筋ジストロフィーブタに関する繁殖及び生産	終了	国庫 共同	R5-R7	ゲノム編集技術で作出した筋ジストロフィーブタ(筋ジストロフィーブタ)の実用性を評価するため、キヤリアメスブタの繁殖性と得られた筋ジストロフィーブタの特性を調査する。	筋ジストロフィーブタの野生的な繁殖能力を調査した。	遺伝子疾患治療分野から、難病である筋ジストロフィーの治療に向けた動物モデルとして期待されている。	無	(3,000) 1,000	—	精神・神経疾患研究開発費 大学、国立精神・神経医療研究センター
	需要に応じた高品質な畜産物の安定生産	静岡型ブタアイソレーターシステムの利用拡大に向けた飼養管理技術の確立 ・効率な無菌化方法の確立 ・無菌ミニブタの給餌プログラムの最適化 ・静岡型ブタアイソレーターシステムの無菌化による無菌家畜ブタ作出方法の確立	継続	単独	R4-R8 (R4) (R4-R6) (R6-R8)	先端医療分野から要望を受けた静岡型ブタ飼育システムの利用拡大に向け、ミニブタと実験用家畜ブタを含めたより効率的な無菌ブタ飼養管理方法を確立する。	家畜ブタの無菌飼育のため適正密度から飼育可能頭数を試算し、アイソレーターでの2週間飼育実証で通常と同等の発育を確認した。	得られた成果をマニキュアル化し、共同開発企業を通じてユーザーに提案することにより、アイソレーターの拡販を推進する。	有 特許登録 「飼育用 アイソレ ーター」	(1,191) 242	(1,481) 290	

試 験 研 究 成 果 一 覧

(令和8年5月31日現在)

< 中小家畜研究センター >

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背 景 等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(令和 8年度)	
需要に応じた畜産 高品質な畜産物の安定生産	種豚の遺伝資源 ・ 保存・個体復元 技術開発事業 ・ 安定的な採卵 技術の開発 ・ 種豚の遺伝資源 保存・個体復元 技術検証事業	新規	受託 共同	R8-R9 (R8-R9) (R9)	豚受精卵保存・移植技術の確立のため、豚経膈採卵 (OPU) 時の豚の不動化方法の検討及びOPU由来卵の培養、保存から非外科的移植による産子を得る一連の技術を検証する。	—	科学的知見については、関連学会で発表を行う。公設試験研究機関、種豚場等の技術者に普及を図る。	無	—	(2,720) 2,720	日本中央競馬会畜産振興事業 大学、愛知県
需要に応じた畜産 高品質な畜産物の安定生産	筋ジストロフィー患者率の確立	新規	国庫 共同	R8-R10	ゲノム編集技術で作出した筋ジストロフィーミニブタ(筋ジストロフィーを治療法の開発に利用しやすいよう毛色制御と受精卵保存を行う。	—	難病である筋ジストロフィーの治療法開発に向けて動物モデルとして活用される。	無	—	(900) 900	精神・疾患研究開発費 大学、国立精神・神経医療研究センター

試 験 究 査 一 覧

(令和8年5月31日現在)											
区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の有 無及び内容	事業費		備 考
									(前年度 まで)	(令和 本年度)	
＜中小家畜研究センター＞	環境に配慮した持続可能な畜産物の安定生産	新規	単独	R8-R12 (R8-R11) (R10-R12))	災害時等に備えた遺伝資源保存技術として、始祖生殖細胞移植による駿河シヤモの復元に成功したが、さらに迅速な復元を可能とするため、効率的な手法を確立する。	—	災害等で駿河シヤモが消失しても速やかに駿河シヤモを復元する技術を開発し、駿河シヤモ産業の継続に貢献する。	無	—	(198) 198	
環境に配慮した持続可能な畜産物の推進	活性汚泥処理の最適化と新規窒素除去反応・アナモックスの利用による畜産廃水処理技術の高度化 ・アナモックス共存型・多段階活性汚泥処理施設運転条件の最適化	継続	国庫 共同	R4-R8 (R4-R8)	これまでの研究でアナモックス菌を利用した窒素除去率を向上させたことから、曝気制御の現地実証を行い、畜産農家が安価に導入できる窒素除去システムを開発する。	実証試験農場に導入した溶存酸素濃度に基づく曝気制御システムにより、曝気槽の溶存酸素濃度が安定し、窒素除去率の向上とアナモックス菌量の安定化を確認した。	現地実証システムの長期調査により、運転の最適化を特許審査請求「回収装置及び処理システム」	有	(32,203) 4,543	(36,291) 4,088	(国研) 農研機構畜産研究部

試 験 研 究 成 果 一 覧

＜ 中小家畜研究センター ＞ (令和8年5月31日現在)

区 分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研 究 成 果	研究成果の活用 普及等の状況	特許等 帰属の 有無及 び内容	事業費		備 考
									(平成まで) 前年度	(令和) 本年度	
環境に配慮し た持続可能な 畜産業の推進	豚舎における脱臭装置利用マニ ュアルの作成	継続	単独	R6-R8	脱臭装置の効果 的な使用方法を 明らかにするた め、洗浄脱臭の 最適な水の使用 量及び脱臭利用 後の使用水の処 理方法を調査す るとともに、吸 着脱臭における 臭気物質ごとに 適した脱臭資材 を検討し、脱臭 装置の利用マニ ュアルを作成す る。	洗浄脱臭使用水とし てクエン酸溶液の 性能が示唆され、 脱臭でガスの発生 の長期のアンモニ ア除去を確認した。	市の環境対策協議 会等で研究成果を 伝達し、比較的取 組みやすい脱臭 技術として生産農 場に普及すること により、豚舎悪臭 の苦情の減少を目 指す。	無	(766) 379	(1,025) 259	
	・次亜水を利用 した脱臭装置利 用マニュアルの 作成			(R6-8)							
	・洗浄脱臭後の 脱臭使用水の処 理法の提案			(R7-8)							
	・吸着型脱臭装 置内での脱臭資 材利用マニュア ルの作成			(R6-8)							

(5) 研究成果の広報・普及

試験研究成果の広報・普及については、以下の冊子等を発行し、W e b で公開するとともに生産者団体・農協の会合で研究員が説明している。

ア 試験研究の広報・普及活動

(令和7年度)

資 料 名	部 数	備 考
1 静岡県畜産技術研究所研究報告	W e b	必要に応じて印刷 産業イノベーション推進課 産業イノベーション推進課 農業戦略課
2 静岡県畜産技術研究所研究トピックス	W e b	
3 中小家畜研究センター要覧(センター)	100	
4 5 研究所共通パンフレット	W e b	
5 試験研究 10 大トピックス	W e b	
6 あたらしい農業技術 (フジキンカの生産性向上を目指した新たな交配方法)	W e b	

(令和8年度)

(令和8年5月31日現在)

資 料 名	部 数	備 考
1 中小家畜研究センター要覧(センター)	50	必要に応じて印刷

イ 学会発表及び機関誌投稿等

(令和7年度)

区分		本所	センター	計	備考
発表	学会	2 回	5 回	7 回	日本獣医学術中部地区学会、東海畜産学会、日本水処理生物学会 他
	投稿	0 回	11 回	11 回	日本養豚学会誌、東海畜産学会報、静岡県獣医師会会報 他
	講演会	4 回	3 回	7 回	家畜保健衛生業績発表会、AGTS 農業展、病性鑑定技術研修会、農家向け研修会 他
		89 人	74 人	163 人	
指導	現地指導	17 回	76 回	93 回	自給飼料生産、雑草対策、飼養管理技術、養豚廃水処理技術指導、脱臭対策技術指導 他
		153 人	82 人	235 人	
	来所指導	15 回	11 回	26 回	自給飼料生産、雑草対策、飼養管理技術、家畜人工授精講習会、インターン 専門職大実習 他
		69 人	22 人	91 人	
	電話指導	7 回	37 回	44 回	自給飼料生産、雑草対策、畜産環境対策、家畜の改良、飼養管理技術 他
視察 受入	学生	3 人	0 人	3 人	飼養管理技術、自給飼料生産、獣医学生スタディーツアー 他
	企業	6 人	15 人	21 人	
	農家	2 人	0 人	2 人	
	官庁	8 人	0 人	8 人	
	その他	0 人	0 人	0 人	
	小計	19 人	15 人	34 人	
マス コミ	取材	0 回	4 回	4 回	新聞 他

(令和8年度)
(令和8年5月31日現在)

区分		本所	センター	計	備考
発表	学会	0回	0回	0回	
	投稿	0回	1回	1回	におい・かおり環境学会誌
	講演会	0回	0回	0回	
		0人	0人	0人	
指導	現地指導	2回	4回	6回	自給飼料生産、雑草対策、養豚廃水処理技術指導 他
		17人	5人	22人	
	来所指導	3回	5回	8回	栽培研究、畜産環境研究、繁殖・衛生管理指導 専門職大実習他
		12人	13人	25人	
	電話指導	0回	7回	7回	繁殖管理 他
視察 受入	学生	0人	0人	0人	自給飼生産ほ場見学、浚渫土試験ほ場見学 他
	企業	0人	0人	0人	
	農家	0人	0人	0人	
	官庁	15人	0人	15人	
	その他	0人	0人	0人	
	小計	15人	0人	15人	
マス コミ	取材	0回	0回	0回	新聞 他

(6) その他の研修等普及指導・広報活動

試験研究成果の伝達と広報を主体に、実習生や研修生の受け入れおよび参観者などの視察の対応等を行っている。

ア 研修・実習関連業務

職員の資質向上、専門的な知識の習得、研究推進などを図るため、独立行政法人(独法)、国立研究開発法人(国研)等で研修を受けた。

(令和7年度)

区分	研修の種類	所属・職名	実施場所	期 間
本所	中央畜産技術研修 (肉用牛全般に関する知識の習得)	肉牛科 研究員	独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設 (福島県西白河郡)	12月16日～19日
センター	鶏凍結精液作成技術講習会	養豚・養鶏科 上席研究員	岡崎コンファレンスセンター	9月16日 ～9月17日
センター	食肉・鶏卵・乳製品の 官能評価ワークショップ	養豚・養鶏科 主任研究員	農業・食品産業技術総合研究機構(オンライン)	10月6日、 10月14日 ～10月15日
センター	細胞培養ハンズオントレーニング	養豚・養鶏科 上席研究員	サーモフィッシュャーサイエ ンティフィック 東京本社	12月15日

(令和8年度) (令和8年5月31日現在)

区分	研修の種類	所属・職名	実施場所	期 間
本所	除草剤の試験方法に関する研修会	飼料環境科 研究員	日本植物調節剤研究協会研 究所	4月14日 ～4月15日
センター	家畜生産性向上のための 育種改良技術に関する研究	養豚・養鶏科 主任研究員	農業・食品産業技術総合研究 機構	5月7日 ～8月7日

イ 公開デーの開催

畜産への関心を高め、試験研究への理解を深めるため、一般県民を対象に「公開デー」を開催している。

(令和7年度)

機 関	名 称	開催日	開催場所	参加者数
本 所	夏休み親子農業教室	8月1日	本 所	28人
センター	夏休み親子農業教室(本所合同)	8月1日	本 所	—

(令和8年度)

(令和8年5月31日現在)

機 関	名 称	開催日	開催場所	参加者数
本 所	夏休み親子農業教室	8月5日 予定	本 所	—
センター	夏休み親子農業教室(本所合同)	8月5日 予定	本 所	—

3 事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
○畜産技術研究所試験研究費	・ 畜産技術研究所試験研究推進要領
○新成長戦略研究事業	・ 新成長戦略研究推進要綱
○公募競争型資金活用研究事業	・ 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業実施要領 ・ 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律
○畜産業振興総合推進費 (家畜改良推進事業) (家畜改良増殖対策事業) (資源循環型畜産推進事業) (飼料生産推進事業) (畜産物流通推進事業)	・ 家畜改良増殖法 ・ 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 ・ 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律 ・ 静岡県酪農・肉用牛生産近代化計画
○農業振興総合推進費 (農薬適正使用管理体制強化事業)	・ 農薬取締法 ・ 飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律
○受託放牧育成事業	・ 畜産技術研究所乳用牛放牧育成業務実施要領
○和牛受精卵供給事業	・ 静岡県和牛改良推進協議会規約 ・ 家畜改良増殖法 ・ 家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律
○銘柄豚供給事業	・ 養豚農業振興法 ・ 静岡県系統豚売払い要領 ・ 静岡県「フジキンカ」売払い要領
○銘柄鶏供給事業	・ 静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター「駿河シャモ」譲渡要領

職員配置調

(令和8年5月31日現在)

区 分		総務課	酪農科	肉牛科	飼料環境科	中小家畜研究センター	計
所 在 地		富士宮市猪之頭 1 9 4 5				菊川市西方 2 7 8 0	
担 当 区 域							
配置職員	職 員 (事)	3				3	6
	職 員 (技)	3	3	3	2	11	22
	職 員 (技 能)	13				6	19
	暫定再任用職員(事)						
	暫定再任用職員(技)		1				1
	暫定再任用職員(技能)	1				1	2
	定年前再任用短時間勤務職員(事)						
	定年前再任用短時間勤務職員(技)						
	定年前再任用短時間勤務職員(技能)						
	会 計 年 度 任 用 職 員	(3)	(4)	(3)	(4)	(7)	(21)
計		20 (3)	4 (4)	3 (3)	2 (4)	21 (7)	50 (21)

職員配置調

畜産経営環境技術センター
(令和8年5月31日現在)

区 分		研究スタッフ	計
所 在 地		菊川市西方 2 7 8 0	
担 当 区 域		県下全域	
配置職員	職 員 (事)		
	職 員 (技)	(4)	(4)
	職 員 (技 能)		
	暫定再任用職員(事)		
	暫定再任用職員(技)		
	暫定再任用職員(技能)		
	定年前再任用短時間勤務職員(事)		
	定年前再任用短時間勤務職員(技)		
	定年前再任用短時間勤務職員(技能)		
	会 計 年 度 任 用 職 員		
計		(4)	(4)

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 予 算 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	27,000	15,000	12,000
項 01使用料	27,000	15,000	12,000
目 07経済産業使用料	27,000	15,000	12,000
12庁舎等使用料	27,000	15,000	12,000
款 10財産収入	19,476,685	19,342,285	134,400
項 01財産運用収入	157,200	152,700	4,500
目 01財産貸付収入	157,200	152,700	4,500
01職員住宅貸付料	145,200	145,200	0
02土地貸付料	12,000	7,500	4,500
項 02財産売却収入	19,319,485	19,189,585	129,900
目 03生産物売却収入	19,319,485	19,189,585	129,900
02農業関係技術研究所生産物売却収入	19,319,485	19,189,585	129,900
款 14諸収入	1,379,853	1,379,853	0
項 07雑入	1,379,853	1,379,853	0
目 02雑入	1,379,853	1,379,853	0
90保険料負担金	1,313,349	1,313,349	0
非常勤職員	1,313,349	1,313,349	0
93雑収	66,504	66,504	0
計	20,883,538	20,737,138	146,400

執 行 状 況 調

(令和 7年度)
(令和 8年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	55.5
0	0	0	0	100.0	55.5
0	0	0	0	100.0	55.5
0	0	0	0	100.0	55.5
0	0	0	0	100.0	99.3
0	0	0	0	100.0	97.1
0	0	0	0	100.0	97.1
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	62.5
0	0	0	0	100.0	99.3
0	0	0	0	100.0	99.3
0	0	0	0	100.0	99.3
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.2

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 09使用料及び手数料	27,000	27,000	0
項 01使用料	27,000	27,000	0
目 07経済産業使用料	27,000	27,000	0
12庁舎等使用料	27,000	27,000	0
款 11財産収入	4,907,305	3,666,666	0
項 01財産運用収入	36,200	36,200	0
目 01財産貸付収入	36,200	36,200	0
01職員住宅貸付料	24,200	24,200	0
02土地貸付料	12,000	12,000	0
項 02財産売払収入	4,871,105	3,630,466	0
目 03生産物売払収入	4,871,105	3,630,466	0
03農業関係技術研究所生産物売払収入	4,871,105	3,630,466	0
款 15諸収入	82,311	82,311	0
項 07雑入	82,311	82,311	0
目 02雑入	82,311	82,311	0
93保険料負担金	79,797	79,797	0
非常勤職員	79,797	79,797	0
95雑収	2,514	2,514	0
計	5,016,616	3,775,977	0

執 行 状 況 調

(令和 8年度)
(令和 8年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	1,240,639	1,240,639	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	1,240,639	1,240,639	100.0	100.0
0	0	1,240,639	1,240,639	100.0	100.0
0	0	1,240,639	1,240,639	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	1,240,639	1,240,639	100.0	100.0

預 金 調

(令和8年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 菊川支店	無利息型普通預金	0622391	中小家畜研究センター 資金前渡者	0	研修参加費等資金前渡用
静岡銀行 菊川支店	無利息型普通預金	0622380	(自振口) 中小家畜研究センター 資金前渡者	0	公共料金等口座振替用
残 高 合 計				0	

調 査 受 入 等 受 入 調 査

(令和8年5月31日現在)
(単位:枚、円)

区 分	種 類	7 年 度						8 年 度						摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		
郵便	180 円券	67	12,060	100	18,000	102	18,360	65	11,700	0	0	20	3,600	書類の郵送	
	140 円券	26	3,640	120	16,800	120	16,800	26	3,640	20	2,800	27	3,780	〃	
	110 円券	53	5,830	350	38,500	293	32,230	110	12,100	0	0	46	5,060	〃	
	10 円券	42	420	150	1,500	93	930	99	990	0	0	28	280	〃	
	計		21,950		74,800		68,320		28,430		2,800		12,720	18,510	
県証紙	5000 円券	14	70,000	44	220,000	51	255,000	7	35,000	30	150,000	6	30,000	豚熱予防注射・安全運転管理者講習	
	1000 円券	13	13,000	31	31,000	32	32,000	12	12,000	20	20,000	5	5,000	豚熱予防注射	
	500 円券	10	5,000	0	0	7	3,500	3	1,500	5	2,500	1	500	〃	
	100 円券	30	3,000	11	1,100	23	2,300	18	1,800	0	0	2	200	豚熱予防注射・安全運転管理者講習	
	50 円券	8	400	0	0	4	200	4	200	0	0	0	0	豚熱予防注射	
	10 円券	20	200	10	100	9	90	21	210	0	0	0	0	〃	
	計		91,600		252,200		293,090		50,710		172,500		35,700	187,510	
収入印紙	10 円券	16	160	0	0	0	0	16	160	0	0	0	0	16	160
	計		160		0		0		160		0		0		160

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 8年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
款 03 総務費	円 910,966	円 910,966	円 0	
項 01 総務費	910,966	910,966	0	
目 01 一般総務費	872,279	872,279	0	
04 共済費	872,279	872,279	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	872,279	872,279	0	
目 06 職員厚生費	38,687	38,687	0	
10 需用費	38,687	38,687	0	
01 その他の需用費	38,687	38,687	0	
款 04 財務費	7,216,550	7,216,550	0	
項 01 財務費	7,216,550	7,216,550	0	
目 03 行政経営費	7,216,550	7,216,550	0	
10 需用費	660,550	660,550	0	
01 その他の需用費	660,550	660,550	0	
14 工事請負費	6,556,000	6,556,000	0	
款 09 経済産業費	172,641,300	169,964,872	2,676,428	
項 01 経済産業費	1,640,180	1,640,180	0	
目 01 経済産業総務費	1,638,000	1,638,000	0	
01 報酬	1,056,000	1,056,000	0	
03 非常勤職員報酬	1,056,000	1,056,000	0	
03 職員手当等	457,000	457,000	0	
01 その他の職員手当等	457,000	457,000	0	
04 共済費	125,000	125,000	0	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	32,000	32,000	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	93,000	93,000	0	
目 02 経済産業企画費	2,180	2,180	0	
08 旅費	2,180	2,180	0	
02 普通旅費	2,180	2,180	0	
項 02 産業革新費	15,938,972	15,938,972	0	

一般会計

(令和 7年度)
(令和 8年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
目 01 産業革新費	円 15,938,972	円 15,938,972	円 0	
07 報償費	11,500	11,500	0	
01 その他の報償費	11,500	11,500	0	
08 旅費	895,667	895,667	0	
01 その他の旅費	83,879	83,879	0	
02 普通旅費	811,788	811,788	0	
10 需用費	5,276,440	5,276,440	0	
01 その他の需用費	5,276,440	5,276,440	0	
11 役務費	1,105,385	1,105,385	0	
12 委託料	6,890,335	6,890,335	0	
13 使用料及び賃借料	0	0	0	
17 備品購入費	1,459,645	1,459,645	0	
18 負担金、補助及び交付金	300,000	300,000	0	
項 05 農業費	155,062,148	152,385,720	2,676,428	
目 01 農業費	154,992,328	152,333,791	2,658,537	
01 報酬	14,223,000	13,847,028	375,972	
03 非常勤職員報酬	14,223,000	13,847,028	375,972	
03 職員手当等	5,654,000	5,546,228	107,772	
01 その他の職員手当等	5,654,000	5,546,228	107,772	
04 共済費	4,457,000	3,694,413	762,587	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	1,186,000	969,893	216,107	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,271,000	2,724,520	546,480	
08 旅費	1,577,090	1,383,205	193,885	
01 その他の旅費	1,020,000	853,695	166,305	
02 普通旅費	557,090	529,510	27,580	
10 需用費	62,426,710	62,319,721	106,989	
01 その他の需用費	62,426,710	62,319,721	106,989	
11 役務費	6,150,720	5,334,644	816,076	

一般会計

(令和 7年度)
(令和 8年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
12 委託料	6,261,808	6,259,908	1,900	
13 使用料及び賃借料	2,698,000	2,597,444	100,556	
14 工事請負費	49,733,000	49,540,700	192,300	
17 備品購入費	1,593,000	1,593,000	0	
18 負担金、補助及び交付金	155,000	154,600	400	
26 公課費	63,000	62,900	100	
目 02 畜産業費	69,820	51,929	17,891	
08 旅費	28,220	23,640	4,580	
02 普通旅費	28,220	23,640	4,580	
10 需用費	37,000	28,289	8,711	
01 その他の需用費	37,000	28,289	8,711	
11 役務費	4,600	0	4,600	
計	180,768,816	178,092,388	2,676,428	

歳出予算執行状況調

一般会計

(令和 8年度)

(令和 8年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
款 03 総務費	円 52,164	円 0	円 52,164	
項 01 総務費	52,164	0	52,164	
目 01 一般総務費	52,164	0	52,164	
04 共済費	52,164	0	52,164	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	52,164	0	52,164	
款 04 財務費	2,960,000	0	2,960,000	
項 01 財務費	2,960,000	0	2,960,000	
目 03 行政経営費	2,960,000	0	2,960,000	
14 工事請負費	2,960,000	0	2,960,000	
款 09 経済産業費	135,685,240	9,043,727	126,641,513	
項 01 経済産業費	15,360	0	15,360	
目 02 経済産業企画費	15,360	0	15,360	
08 旅費	15,360	0	15,360	
02 普通旅費	15,360	0	15,360	
項 02 産業革新費	50,800	50,800	0	
目 01 産業革新費	50,800	50,800	0	
11 役務費	50,800	50,800	0	
項 05 農業費	135,619,080	8,992,927	126,626,153	
目 01 農業費	135,589,280	8,990,207	126,599,073	
01 報酬	14,977,000	1,212,157	13,764,843	
03 非常勤職員報酬	14,977,000	1,212,157	13,764,843	
03 職員手当等	6,022,000	0	6,022,000	
01 その他の職員手当等	6,022,000	0	6,022,000	
04 共済費	5,727,000	120,366	5,606,634	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	1,265,000	120,366	1,144,634	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,462,000	0	4,462,000	
07 報償費	12,000	0	12,000	
01 その他の報償費	12,000	0	12,000	

一般会計

(令和 8年度)
(令和 8年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
08 旅費	円 1,469,000	円 88,654	円 1,380,346	
01 その他の旅費	1,022,000	74,294	947,706	
02 普通旅費	447,000	14,360	432,640	
10 需用費	54,760,000	5,919,796	48,840,204	
01 その他の需用費	54,760,000	5,919,796	48,840,204	
11 役務費	5,415,000	447,530	4,967,470	
12 委託料	4,512,000	533,060	3,978,940	
13 使用料及び賃借料	2,692,280	211,044	2,481,236	
14 工事請負費	36,705,000	0	36,705,000	
17 備品購入費	3,100,000	429,000	2,671,000	
18 負担金、補助及び交付金	128,000	15,400	112,600	
26 公課費	70,000	13,200	56,800	
目 02 畜産業費	29,800	2,720	27,080	
08 旅費	9,000	2,720	6,280	
02 普通旅費	9,000	2,720	6,280	
10 需用費	16,800	0	16,800	
01 その他の需用費	16,800	0	16,800	
11 役務費	4,000	0	4,000	
計	138,697,404	9,043,727	129,653,677	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和6年度	令和7年度	左のうち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		6,890,335	
	一般会計	経済産業費	農業費	農業費		6,259,908	
計					15,072,268	13,150,243	0
(14) 工事請負費	一般会計	財務費	行政経営費	行政経営費		6,556,000	
	一般会計	経済産業費	農業費	農業費		49,540,700	
計					23,703,570	56,096,700	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		1,459,645	
	一般会計	経済産業費	農業費	農業費		1,593,000	
計					1,053,173	3,052,645	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費		300,000	
	一般会計	経済産業費	農業費	農業費		154,600	
計					326,789	454,600	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表 令和8年度
(令和8年5月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、7年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	経済産業費	農業費	農業費	533,060	
計					533,060	0
(14) 工事請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	経済産業費	農業費	農業費	429,000	
計					429,000	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般会計	経済産業費	農業費	農業費	15,400	
計					15,400	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						
計					0	0

全面余白

委 託 料 に

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
1	自家用電気工作物 保安管理業務	(一財)中部電気保安協会 掛川営業所	円 399,960	円 399,960	円	円 399,960
2	夜間警備業務	セコム (株)	363,000	363,000		363,000
3	清掃等業務	東海ビル管理 (株)	422,180	422,180		422,180
4	電話設備 保守点検業務	三興電機 (株)	166,100	125,400		125,400
5	合併処理施設 管理業務	静岡県西部環境整備 (株)	660,000	660,000		660,000
6	家畜排水処理施設 管理業務	静岡県西部環境整備 (株)	253,000	253,000		253,000
7	冷凍空調熱源設備 機器保守管理業務	東海サーモエンジニアリング (株)	1,100,000	1,078,000		1,078,000
8	消防設備等 保守点検業務	セルコ (株) 掛川営業所	759,412	455,400		455,400
9	産業廃棄物収集・運搬 及び処分業務	サンワ環境整備 (株)	265,650	238,700		238,700
10	産業廃棄物 (金属くず) 収集・運搬業務	(株) 山内商店	55,000	55,000		55,000
頁計			4,444,302	4,050,640	0	4,050,640

関 する 調

(令和7年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘要
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 4. 28	円 399,960	自家用電気工作物の 保安全管理業務	随契 2号 (不適)
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 5. 29	30,250	夜間等の機械警備及び 火災報知器監視業務	随契 2号 (不適)
		R7. 6. 12	30,250		
		R7. 7. 25	30,250		
		R7. 8. 26	30,250		
		R7. 9. 24	30,250		
		R7. 10. 23	30,250		
		R7. 11. 25	30,250		
		R7. 12. 24	30,250		
		R8. 1. 27	30,250		
		R8. 2. 26	30,250		
		R8. 3. 24	30,250		
		R8. 4. 17	30,250		
		小 計	363,000		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 5. 23	35,180	庁舎管理棟及びその周辺 の清掃等業務	随契 1号 (少額)
		R7. 6. 23	35,180		
		R7. 7. 18	35,180		
		R7. 8. 21	35,180		
		R7. 9. 19	35,180		
		R7. 10. 15	35,180		
		R7. 11. 25	35,180		
		R7. 12. 19	35,180		
		R8. 1. 23	35,180		
		R8. 2. 20	35,180		
		R8. 3. 19	35,180		
		R8. 4. 17	35,200		
		小 計	422,180		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 5. 14	31,350	電話設備の保守点検業務	随契 1号 (少額)
		R7. 8. 18	31,350		
		R7. 11. 18	31,350		
		R8. 3. 6	31,350		
		小 計	125,400		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 10. 3	330,000	合併処理施設(浄化槽) の保守管理業務	随契 1号 (少額)
		R8. 4. 7	330,000		
		小 計	660,000		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 10. 3	126,500	家畜排水処理施設の保守 管理業務	随契 1号 (少額)
		R8. 4. 7	126,500		
		小 計	253,000		
指名	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 10. 15	855,304	センター内冷凍空調設備、 熱源設備機器(ボイラー)の 保守点検業務	指名
		R8. 4. 10	222,696		
		小 計	1,078,000		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 10. 15	206,800	消防設備の保守点検業務	随契 1号 (少額)
		R8. 4. 10	248,600		
		小 計	455,400		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 5. 24	34,100	産業廃棄物 収集運搬処分業務	随契 1号 (少額)
		R7. 7. 11	34,100		
		R7. 9. 30	34,100		
		R7. 10. 23	34,100		
		R7. 12. 17	34,100		
		R8. 2. 10	34,100		
		R8. 3. 31	34,100		
		小 計	238,700		
随契	R7. 6. 9 ～ R8. 3. 31	R7. 12. 11	27,500	産業廃棄物(金属くず) 収集運搬業務	随契 1号 (少額)
		R8. 3. 27	27,500		
		小 計	55,000		
			4,050,640		

委 託 料 に

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
11	産業廃棄物（燃え殻）収集・ 運搬及び処分委託	静和エンパイロメント（株）	121,000	121,000		121,000
12	産業廃棄物（感染性）収集・ 運搬業務委託	日本産業廃棄物処理（株）	84,480	84,480		84,480
13	産業廃棄物（感染性） 処分業務委託	角松商事(有)	21,560	21,560		21,560
14	産業廃棄物（廃蛍光管類 ・廃乾電池類）収集運搬及び 処分業務委託	(株)ホクセイ	47,080	47,080		47,080
15	敷地東側緑地帯及び場内 危険木伐採業務委託	掛川市森林組合	1,613,700	1,610,400		1,610,400
16	実験器具洗浄及び 実験補助業務	(株) レンティック 中部	992,640	992,640		992,640
17	豚受精卵の大量凍結技術の 開発にかかる試験業務委託	(公財) 実験動物中央研究所	1,300,572	1,300,572		1,300,572
18	ホルモン処置による採卵効率 向上技術の開発に関する 試験業務委託	(学法) 麻布獣医学園	2,400,671	2,400,671		2,400,671
19	計測値搬送装置製作委託	(有)オフィスワドー	279,400	279,400		279,400
20	豚経腔採卵用作業台部品 製作業務委託	富士平工業（株）	1,188,000	1,188,000		1,188,000
21	豚保定用吊具及び豚受精卵 ガラス化用部品製作業務委託	富士平工業（株）	579,700	579,700		579,700
22	ネズミ駆除及び防除業務委託	(株) 帝装化成 掛川営業所	474,100	474,100		474,100
頁計			9,102,903	9,099,603	0	9,099,603
合計			13,547,205	13,150,243	0	13,150,243

関 する 調

(令和7年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘要
随契	R7. 6. 13 ～ R8. 3. 31	R7. 8. 22	121, 000	産業廃棄物（燃え殻） 収集運搬業務	随契 1号 (少額)
随契	R7. 9. 1 ～ R7. 3. 31	R7. 10. 8	84, 480	産業廃棄物（感染性）収集・ 運搬業務委託	随契 1号 (少額)
随契	R7. 8. 29 ～ R7. 3. 31	R7. 10. 17	21, 560	産業廃棄物（感染性） 処分業務委託	随契 1号 (少額)
随契	R7. 5. 1 ～ R7. 3. 31	R7. 10. 14	47, 080	産業廃棄物（廃蛍光灯類 ・ 廃乾電池類）収集運搬及び 処分業務委託	随契 1号 (少額)
随契	R7. 9. 22 ～ R8. 3. 13	R8. 1. 28	1, 610, 400	敷地東側緑地帯及び場内 危険木伐採業務委託	随契 1号 (少額)
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	R7. 5. 26	82, 720	実験器具の洗浄、清掃 及び実験補助業務	随契 1号 (少額)
		R7. 6. 19	82, 720		
		R7. 7. 18	82, 720		
		R7. 8. 21	82, 720		
		R7. 9. 19	82, 720		
		R7. 10. 24	82, 720		
		R7. 11. 25	82, 720		
		R7. 12. 23	82, 720		
		R8. 1. 23	82, 720		
		R8. 2. 20	82, 720		
		R8. 3. 19	82, 720		
		R8. 4. 17	82, 720		
			小 計 992, 640		
随契	R7. 4. 7 ～ R8. 3. 21	R7. 4. 11	1, 300, 572	豚受精卵の大量凍結技術の 開発にかかる試験業務委託	随契 2号 (不適)
随契	R7. 5. 14 ～ R8. 3. 21	R7. 6. 6	2, 400, 671	ホルモン処置による採卵効率 向上技術の開発に関する 試験業務委託	随契 2号 (不適)
随契	R7. 7. 4 ～ R8. 3. 31	R7. 10. 3	279, 400	計測値搬送装置製作委託	随契 2号 (不適)
随契	R7. 12. 12 ～ R8. 3. 13	R8. 2. 20	1, 188, 000	豚経腔採卵用作業台部品 製作業務委託	随契 2号 (不適)
随契	R8. 2. 19 ～ R8. 3. 23	R8. 4. 10	579, 700	豚保定用吊具及び豚受精卵 ガラス化用部品製作業務委託	随契 2号 (不適)
随契	R8. 3. 13 ～ R8. 3. 31	R8. 4. 3	474, 100	ネズミ駆除及び防除業務委託	随契 1号 (少額)
			9, 099, 603		
			13, 150, 243		

委 託 料 に

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額		
				当初額	変更増減額	計
1	自家用電気工作物 保安管理業務	(一財)中部電気保安協会 掛川営業所	円 399,960	円 399,960	円	円 399,960
2	夜間警備業務	セコム (株)	363,000	363,000		363,000
3	清掃等業務	東海ビル管理 (株)	448,844	448,844		448,844
4	電話設備 保守点検業務	三興電機 (株)	125,400	125,400		125,400
5	合併処理施設 管理業務	静岡県西部環境整備 (株)	726,000	726,000		726,000
6	家畜排水処理施設 管理業務	静岡県西部環境整備 (株)	279,400	279,400		279,400
7	冷凍空調熱源設備機器 保守管理業務	東海サーモ エンジニアリング (株)	654,500	654,500		654,500
8	消防設備等 保守点検業務	セルコ (株) 掛川営業所	759,412	455,400		455,400
9	産業廃棄物収集・運搬 及び処分業務	サンワ環境整備(株)	238,700	238,700		238,700
合計			3,995,216	3,691,204	0	3,691,204

関 する 調

(令和8年度)
(令和8年5月31日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31	R8. 4. 28	円 399,960	自家用電気工作物の 保安管理業務	随契 2号 (不適)
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31	R8. 5. 26	30,250	夜間等の機械警備及び 火災報知器監視業務	随契 2号 (不適)
			小 計 30,250		
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31	R8. 5. 26	37,400	庁舎管理棟及びその周辺 の清掃等業務	随契 1号 (少額)
			小 計 37,400		
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31	R8. 5. 1	31,350	電話設備の保守点検業務	随契 1号 (少額)
			小 計 31,350		
随契	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31			合併処理施設(浄化槽) の保守管理業務	随契 1号 (少額)
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31			家畜排水処理施設の保守 管理業務	随契 1号 (少額)
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31			センター内冷凍空調設備、 熱源設備機器(ボイラー)の 保守点検業務	随契 1号 (少額)
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31			消防設備の保守点検業務	随契 1号 (少額)
随契	R8. 4. 1 ～ R9. 3. 31	R8. 5. 15	34,100	産業廃棄物 収集運搬処分業務	随契 1号 (少額)
			小 計 34,100		
			533,060		

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	菊川市危険物安全協会会費	菊川市危険物安全協会	菊川市危険物安全協会会則	危険物の取扱及び管理の向上による災害の防止	2,000	R7.5.15
2	第72回日本実験動物学会総会参加費	公益財団法人日本実験動物学会	日本実験動物学会総会開催案内	日本実験動物学会総会へ参加	43,000	R7.5.20
3	菊川地区安全運転管理協会年会費	菊川地区安全運転管理協会	菊川地区安全運転管理協会会則	安全運転管理	28,000	R7.6.26
4	家畜人工授精講習会受講料	静岡県	家畜人工授精に関する講習会(牛・豚)開催要領	家畜人工授精講習会の受講	46,000	R7.7.15
5	静岡県養豚協会会費	静岡県養豚協会	静岡県養豚協会通常総会決議	種豚の登録、子豚の登記、繁殖登録及び産肉登録	15,000	R7.7.25
6	日本水処理生物学会第61回大会参加費	日本水処理生物学会	日本水処理生物学会第61回大会案内	日本水処理生物学会第61回大会への参加	6,000	R7.7.23
7	特定化学物質等作業主任者技能講習受講料	一般社団法人磐田労働基準協会	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習受講案内	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習の受講	11,900	R7.8.8
8	日本家禽学会2025秋季大会参加費	日本家禽学会	日本家禽学会2025年度秋季大会開催案内	日本家禽学会2025年度秋季大会への参加	3,000	R7.8.29
9	チェーンソーによる伐木等の業務特別教育受講料	林業・木材製造業労働災害防止協会 静岡県支部	チェーンソーによる伐木等の業務特別教育受講案内	チェーンソーによる伐木等の業務特別教育の受講	22,000	R7.9.19
10	フルハーネス墜落制止用器具業務特別教育受講料	キャタピラー教習所(株)静岡教習センター	フルハーネス墜落制止用器具業務特別教育受講案内	フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業にかかる業務特別教育の受講	13,300	R7.10.10
11	菊川地区安全運転管理者等講習会	菊川市安全運転管理協会会長	令和7年度安全運転管理者等講習案内	菊川地区安全運転管理者等講習会の受講	5,100	R8.10.10
12	畜産排水処理技術の高度化等現地検討会参加費	(株)Kalm角山	「活性汚泥処理の最適化と新規窒素除去反応アナモックスの利用による畜産排水処理技術の高度化」令和7年度中間検討会 開催要領	畜産排水処理技術の高度化等現地検討会への参加	1,000	R7.10.31
13	フォークリフト特別教育受講料	(株)掛川自動車学校	フォークリフト特別講習受講案内	フォークリフト特別講習教育の受講	38,000	R7.11.28
14	細胞培養ハンズオントレーニング参加費	ライフテクノロジーズジャパン(株)	細胞培養ハンズオントレーニング受講案内	ポイントを習得！細胞培養ハンズオントレーニング(1日コース)参加費	48,400	R7.12.1
15	第60回日本水環境学会年会参加負担金	公益社団法人日本水環境学会	第60回日本水環境学会年会開催案内	第60回日本水環境学会年会へ参加	7,000	R7.12.25
16	伐木等業務特別教育受講料	キャタピラー教習所(株)静岡教習センター	伐木等業務(チェーンソー)特別教育受講案内	伐木等業務特別教育の受講	28,900	R8.1.19
17	ガス溶接技能講習受講料	(株)掛川自動車学校	ガス溶接技能講習受講案内	ガス溶接技能講習の受講	25,000	R8.1.28
18	刈払機取扱作業従事者安全衛生教育受講料	一般社団法人建設不動産総合研修センター	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領	刈払機取扱作業従事者安全衛生教育の受講	44,000	R8.1.23
19	人間ドック事業参加負担金	地方職員共済組合静岡県支部	令和7年度人間ドック県費負担実施要領	人間ドックの受診	14,000	R8.2.2
20	国産純粋種豚改良協議会令和7年度会費	国産純粋種豚改良協議会	国産純粋種豚改良協議会規約	国産純粋種豚改良協議会の活動参加	50,000	R8.2.19
21	第124回日本養豚学会大会参加費	日本養豚学会	第124回日本養豚学会大会開催案内	第124回日本養豚学会大会へ参加	3,000	R8.3.2
	計	21件			454,600	

負 担 金 支 出 調

(令和8年度)

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃 棄物管理責任者 講習会受講料	公益財団法人日本産業 廃棄物処理 振興セン ター	産業廃棄物処理法 第 12条の2第8項および 法第12条の2第9項	特別管理産業廃棄物管 理責任者講習会の受講	15,400	R8.5.11
	計	1件			15,400	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	行政経営費	管理研究棟 北側埋設揚水管 更新工事	菊川市 西方2780	1,573,000	1,573,000	0	1,573,000
2	行政経営費	管理研究棟 衛生室・図書室 個別空調設置工事	菊川市 西方2780	2,497,000	2,497,000	0	2,497,000
3	行政経営費	合併処理施設 原水ポンプ及び 調整ブローア更新工事	菊川市 西方2780	2,486,000	2,486,000	0	2,486,000
		小計	3 件	6,556,000	6,556,000	0	6,556,000
4	農業費	自動給餌システム等 修繕工事	菊川市 西方2780	40,312,459	40,260,000	0	40,260,000
5	農業費	系統造成豚舎 (8 号豚舎) 外壁修繕工事	菊川市 西方2780	3,960,000	3,960,000	0	3,960,000
6	農業費	管理研究棟小会議室 個別空調更新工事	菊川市 西方2780	660,000	660,000		660,000
7	農業費	場内ネットワーク 改修工事	菊川市 西方2780	920,700	920,700		920,700
8	農業費	豚舎豚房修繕工事	菊川市 西方2780	3,740,000	3,740,000		3,740,000
		小計	5 件	49,593,159	49,540,700	0	49,540,700
		合計	8 件	56,149,159	56,096,700	0	56,096,700

令和8年度該当なし

(令和7年度)

事 調

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)掛川水道設備	R7.5.14 R7.7.31	1,573,000	管理研究棟 北側埋設揚水管 更新工事	済	令達 R7.4.22 支払 R7.9.24 随契1号(少額)
随契	東海サーモエンジニアリング(株)	R7.11.10 R8.3.13	2,497,000	管理研究棟 衛生室・図書室 個別空調設置工事	済	令達 R7.8.18 支払 R8.3.31 随契1号(少額)
随契	石山産商(株)	R8.2.20 R8.3.27	2,486,000	合併処理施設 原水ポンプ及び 調整ブロー更新工事	済	令達 R8.2.6 支払 R8.4.10 随契1号(少額)
			6,556,000			
一般	イクナム研設(株)	R7.9.1 R8.3.13	40,260,000	自動給餌システム等 修繕工事	済	令達 R7.4.24 支払 R8.4.17 一般
随契	(株)牧野組	R8.1.14 R8.3.13	3,960,000	系統造成豚舎 (8号豚舎) 外壁修繕工事	済	令達 R7.10.22 支払 R8.3.31 随契1号(少額)
随契	東海サーモエンジニアリング(株)	R8.2.13 R8.3.31	660,000	管理研究棟小会議室 個別空調更新工事	済	令達 R7.10.22 支払 R8.3.31 随契1号(少額)
随契	(株)N.E.W	R8.2.13 R8.3.31	920,700	場内ネットワーク 改修工事	済	令達 R7.10.22 支払 R8.4.17 随契1号(少額)
随契	イクナム研設(株)	R8.2.24 R8.3.25	3,740,000	豚舎豚房修繕工事	済	令達 R8.1.6 支払 R8.4.17 随契1号(少額)
			49,540,700			
			56,096,700			

公 有 財 産 調

(令和7年度)

区 分	令和7年 3月31日現在		増		減		令和8年 3月31日現在		摘 要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量 又は 面積	台 帳 価 格	数量 又は 面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 1,646,316						千円 1,621,450	
土地	m ² 90,149.90	1,392,558					m ² 90,149.90	1,392,558	
立木竹	本 37	1,069					本 37	1,069	
建物	m ² <u>8,862.70</u> 9,807.02	182,861				16,177	m ² <u>8,862.70</u> 9,807.02	166,684	
工作物	個 79	69,828				8,689	個 79	61,139	
普通財産		48,277						48,411	
土地	m ² 3,076.52	47,466					m ² 3,076.52	47,466	
建物	m ² <u>208.68</u> 198.72	—					m ² <u>208.68</u> 198.72	—	
特許権等	件 4	811		134			件 4	945	
公有財産に 準ずるもの		109						109	
電話加入権	件 5	109					件 5	109	

令和8年度中増減なし

借地借家等調

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	道路 敷地	菊川市 西方 3783-7	道路	道路	m ² 1.44	円 免除	円 免除	令和 6.4.1 ～ 令和 9.3.31	菊川市長	案内 看板
2	土地	道路 敷地	菊川市 西方 2839-8	道路	道路	1.44	免除	免除	令和 6.4.1 ～ 令和 9.3.31	菊川市長	案内 看板
3	土地	水路 敷地	菊川市 西方 2780	水路	水路	33.29	免除	免除	令和 7.4.1 ～ 令和 10.3.31	菊川市長	進入路
4	土地	水路 敷地	菊川市 西方 2780	水路	水路	10.26	免除	免除	令和 7.4.1 ～ 令和 10.3.31	菊川市長	進入路
	計					46.43	0	0			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和8年度)
(令和8年5月31現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
債務負担 行為		(契約日)		円	円	円	円	円	円
		(契約日)							
長期継続 契約	電算機器等賃貸借契約	電算機器の賃貸借 (契約日) 令和6年7月1日	10,758,000	896,500	2,151,600	2,151,600	2,151,600	2,151,600	1,255,100
	電子複写機賃貸借契約	電子複写機賃貸借 (契約日) 令和7年4月1日	1,399,200		310,000	250,000	310,000	279,200	250,000

行政財産貸付・使用許可調

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は 面 積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使 用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	行政 財産	土地	菊川市 西方 2780		宅地	電柱 7 本 支線 1 条	円 1,500 1,500	円 10,500 1,500	自令和 8 年 4 月 1 日 至令和 13 年 3 月 31 日	西日本電信 電話(株)静岡 支店長	電柱敷
2	〃	〃	〃		宅地	電柱 2 本 支線 3 条	1,500 1,500	3,000 4,500	自令和 4 年 4 月 1 日 至令和 9 年 3 月 31 日	中部電力パワ ーグリッド(株) 掛川営業所長	電柱敷
3	〃	〃	〃		宅地	カーブミラー 1 本	免除	免除	自令和 7 年 4 月 1 日 至令和 12 年 3 月 31 日	菊川市長	工作物 敷地
4	〃	〃	〃		宅地	支線 2 条	1,500	3,000	自令和 7 年 4 月 1 日 至令和 12 年 3 月 31 日	中部電力パワ ーグリッド(株) 掛川営業所長	電柱敷
			西方 2863-2		雑種 地	電柱 2 本 支線 1 条	1,500 1,500	3,000 1,500			
	合計							27,000			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は 面 積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使 用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	普通 財産	土地	菊川市 西方 2770-3		宅地	電柱 1 本 支線 3 条	1,500 1,500	1,500 4,500	自令和 8 年 4 月 1 日 至令和 11 年 3 月 31 日	中部電力パワ ーグリッド(株) 掛川営業所長	電柱敷
2	〃	〃	〃		宅地	支線 1 条	1,500	1,500	自令和 6 年 4 月 1 日 至令和 9 年 3 月 31 日	中部電力パワ ーグリッド(株) 掛川営業所長	電柱敷
3	〃	〃	〃		宅地	電柱 2 本 支線 1 条	1,500 1,500	3,000 1,500	自令和 7 年 4 月 1 日 至令和 10 年 3 月 31 日	西日本電信電 話(株)静岡 支店長	電柱敷
	合計							12,000			

職員公舎管理状況調

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構 造	管理戸 (室)数A	入居戸 (室)数B	Bの内他事務所 職員入居戸(室)数	空屋戸(室) 数A－B	摘要
1	菊川市 西方2770-3	S 62 ・ 4	木造平屋 アスファルト シングル葺	3	1	0	2	空家年月日 H22. 6. 1～ R5. 5. 1～
	計			3	1	0	2	

備品・図書調

1 / 2 頁

(令和 7年度)

所属 0000105445 経済産業部 畜産技術研究所中小家畜研究センター

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-02 台類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
01-03 いす類	6	(0) 0	0	(0) 6	0	0
01-04 収納保管庫類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-06 印字器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
01-99 その他の庁用器具類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
02-01 情報処理機器類	15	(0) 0	0	(0) 8	0	7
03-01 撮影機器類	7	(0) 0	0	(0) 2	0	5
03-02 観察・観測用光学機器類	32	(1) 1	0	(0) 4	0	29
03-03 視覚用再生等機器類	2	(0) 0	0	(0) 2	0	0
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
04-02 衛生検査用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
04-06 獣医用機器類	31	(0) 1	877,800	(0) 1	0	31
04-07 防疫機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
05-01 強度（物性）試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2

備品・図書調

2 / 2 頁

(令和 7年度)

所属 0000105445 経済産業部 畜産技術研究所中小家畜研究センター

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
05-03 電気試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 2	0	2
05-04 分析化学機器類	60	(0) 0	0	(0) 3	0	57
05-05 生物化学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-06 環境化学機器類	11	(0) 0	0	(0) 4	0	7
05-08 度量衡測定機器類	19	(0) 0	0	(0) 2	0	17
05-09 天体気象観測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	90	(0) 0	0	(0) 12	0	78
06-01 建設鉱山用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-02 金属加工用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-04 電気電子機器類	14	(0) 0	0	(0) 2	0	12
06-99 その他の諸機器類	6	(0) 0	0	(0) 1	0	5
07-01 農産用機器類	16	(0) 0	0	(0) 2	0	14
07-03 畜産用機器類	70	(0) 0	0	(0) 10	0	60
08-01 車両類	12	(1) 3	2, 174, 845	(1) 1	0	14
09-01 標本美術品	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	470	(2) 5	3, 052, 645	(1) 68	0	407

備品・図書調

1 / 2 頁

(令和 8年度)

所属 0000105445 経済産業部 畜産技術研究所中小家畜研究センター

区 分	令和 8年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 5月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-04 収納保管庫類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-06 印字器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-01 情報処理機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-01 撮影機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-02 観察・観測用光学機器類	29	(0) 0	0	(0) 0	0	29
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
04-02 衛生検査用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
04-06 獣医用機器類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
04-07 防疫機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-01 強度（物性）試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-04 分析化学機器類	57	(0) 1	429, 000	(0) 0	0	58
05-05 生物化学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-06 環境化学機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7

備品・図書調

2 / 2 頁

(令和 8年度)

所属 0000105445 経済産業部 畜産技術研究所中小家畜研究センター

区 分	令和 8年 3月31日 現在	増		減		令和 8年 5月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-08 度量衡測定機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
05-09 天体気象観測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	78	(0) 0	0	(0) 0	0	78
06-01 建設鉱山用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-02 金属加工用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-04 電気電子機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
06-99 その他の諸機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
07-01 農産用機器類	14	(0) 0	0	(0) 1	0	13
07-03 畜産用機器類	60	(0) 0	0	(0) 0	0	60
08-01 車両類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
09-01 標本美術品	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	407	(0) 1	429, 000	(0) 1	0	407

主 要 備 品 調

(令和8年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利用状況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	5-4	分光分析機器	近赤外線分光分析計 ファイバースコープ付き	豚枝肉の非破壊成分調査 (20 日)	H10. 3	円 17, 797, 500
2	5-4	クロマトグラフ	高速液体クロマト 3タイプ 検出機能	アミノ酸等不揮発性物質測定 (30 日)	S62. 10	11, 040, 000
3	5-5	アミノ酸化学機器	アミノ酸分析計	豚肉の旨み成分の分析(50 日)	H4. 3	10, 197, 000
4	5-5	その他の生物化学機器	DNA シーケンサー	DNA 塩基配列等の解析 (120 日)	H17. 5	9, 922, 500
5	3-2	顕微鏡	走査型電子顕微鏡 倍率 35～200, 000	精子、卵子、組織構造観察 (30 日)	S63. 2	8, 537, 000
6	5-4	分光分析機器	原子吸光分光光度計 分析条件設定記憶可能	飼料等の無機物質の測定 (30 日)	S62. 10	8, 400, 000
7	5-4	分光分析機器	原子吸光分析装置 偏光ゼーマン原子吸光光度計	堆肥、汚水の無機塩類の測定 (50 日)	H7. 2	8, 352, 270
8	7-3	環境整備用機器	鶏糞発酵処理装置 内容量 5～6 立方メートル	鶏糞の発酵処理 (120 日)	S62. 3	8, 320, 000
9	7-3	その他の畜産用機器	長期飼育アイソレータ 特注 (製作業務委託成果品)	無菌動物の飼育 (180 日)	R4. 4	7, 073, 000
10	3-1	その他の撮影機器	スキャンングスコープ P スコープ、F スコープ 付き	豚生体の産肉性調査 (60 日)	H10. 3	6, 726, 300
11	7-3	その他の畜産用機器	輸送アイソレータ 特注 (製作業務委託成果品)	無菌動物の輸送移動 (30 日)	R4. 4	6, 688, 000
12	5-4	クロマトグラフ	イオンクロマト装置1流 路2 カラムサブレッサー方式	汚水のイオン分析 (30 日)	H6. 10	6, 077, 000
13	3-2	顕微鏡	マニピュレータ顕微鏡	豚クローン胚作出 (30 日)	H14. 9	5, 829, 516
14	3-2	顕微鏡	マニピュレータ顕微鏡	豚クローン胚作出 (30 日)	H16. 12	5, 397, 000
15	5-4	クロマトグラフ	高速イオンクロマトグラフ 4タイプ 検出機能	陰イオン測定 (100 日)	R5. 9	5, 280, 000
16	5-5	その他の生物化学機器	リアルタイムPCR システム	迅速な DNA 鑑定 (60 日)	H18. 6	4, 706, 100
17	7-3	その他の畜産用機器	3 ヶ月齢飼育アイソレータ 特注 (製作業務委託成果品)	無菌動物の飼育 (180 日)	H31. 3	4, 492, 800
18	5-4	クロマトグラフ	ガスクロマトグラフシステム 2タイプ 検出機能	臭気分析 (90 日)	H5. 3	4, 490, 800
19	5-99	試験実験用付属機器	発酵攪拌装置スポット脱臭装置 1. 6L/分	アンモニア発生量の抑制 (50 日)	H13. 3	4, 462, 500
20	5-4	クロマトグラフ	ガスクロマトグラフシステム FID・オートサンプリング付き	脂肪酸の測定 (60 日)	H25. 2	4, 176, 900

(令和7年度)

動物管理状況調

品名	区分 品種	令和7年3月31日 現在 頭羽数	増				減					頭羽数 差 引	摘要	
			分類換	購入	管理換 その他	計	分類換 売 却		死亡	管理換 その他	計			
							出生	購入						
種豚	ランドレース	頭 13	頭 8	頭 0	頭	頭 8	頭 4	頭	頭	頭 2	頭 6	頭 15	♂ ♀	8 7
	大ヨークシャー	31	18			18	11			4	15	34	♂ ♀	11 23
	F1(雑種)	47	35			35	14			4	18	64	♂ ♀	34 30
	デュロック	58	53			53	32			10	42	69	♂ ♀	26 43
	金華豚	18	1			1	2			3	5	14	♂ ♀	8 6
	その他	80	55			55	2			54	56	79	♂ ♀	22 57
	計	247	170	0	0	170	65	0	0	77	142	275	♂ ♀	109 166
鶏	在来鶏	羽 990	羽 806	羽	羽	羽 806	羽	羽	羽 108	羽 974	羽 1,082	羽 714	♂ ♀	60 654
	計	990	806	0	0	806	0	0	108	974	1,082	714	♂ ♀	60 654

(令和8年度)

(令和8年5月31日現在)

動物管理状況調

品 名	区分 品種	令和8年3月31日 現在 頭羽数	増				減					頭羽数 差 引	摘要	
			分類換	購入	管理換 その他	計	分類換 売 却		死亡	管理換 その他	計			
							出生	購入						
種 豚	ランドレース	頭 15	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 15	♂ ♀	8 7
	大ヨークシャー	34	8	0	0	8	2	0	0	1	3	39	♂ ♀	14 25
	F1(雑種)	64	24	0	0	24	22	0	0	0	22	66	♂ ♀	34 32
	デュロック	69	7	0	0	7	2	0	0	2	4	72	♂ ♀	26 46
	金華豚	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	♂ ♀	8 6
	その他	79	9	0	0	9	0	0	0	0	0	88	♂ ♀	25 63
	計	275	48	0	0	48	26	0	0	3	29	294	♂ ♀	115 179
鶏	在来鶏	羽 714	羽 48	羽 0	羽 0	羽 48	羽 0	羽 0	羽 9	羽 1	羽 10	羽 752	♂ ♀	74 678
	計	714	48	0	0	48	0	0	9	1	10	752	♂ ♀	74 678

品名 (単位)		豚				豚精液				鶏卵			
		令和6年度 a	令和7年度 b	令和8年度 5月31日現在	差 b-a	令和6年度 a	令和7年度 b	令和8年度 5月31日現在	差 b-a	令和6年度 a	令和7年度 b	令和8年度 5月31日現在	差 b-a
区分	種豚・種鶏(頭・羽)(ア)	160	166	179	6	87	109	115	22	892	654	678	-238
	前年度繰越高	514	348	450	-166	0	0	0	0	1,753	3,482	4,758	1,729
	本年度生産高(イ)	837	864	194	27	10,100	12,700	1,200	2,600	166,818	173,000	29,003	6,182
	計	1,351	1,212	644	-139	10,100	12,700	1,200	2,600	118,571	176,482	33,761	7,911
	単位数量(イ/ア)	5.23	5.2	1.08	-0.03	116.09	116.51	10.43	0.42	230.96	264.53	42.78	33.57
払高	同前年比(%) (b-a)/a×100				-0.6				0.4				14.5
	売払数量	782	481	111	-301	10,100	12,700	1,200	2,600	17,535	20,010	3,945	2,475
	売払金額	24,700,639	17,650,505	4,797,151	-7,050,134	353,500	444,500	42,000	91,000	130,230	236,820	42,080	106,590
	非売品 数量	221	281	55	60	0	0	0	0	2,114	440	100	-1,674
	管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	95,440	151,274	26,818	55,834
残高又は繰越数量	計	1,003	762	166	-241	10,100	12,700	1,200	2,600	115,089	171,724	30,818	56,635
		348	450	478	102	0	0	0	0	3,482	4,758	2,898	-48,724
摘 要													
当年度調定額		24,700,639	17,650,505	4,797,151		353,500	444,500	45,500		130,230	236,820	42,080	

(令和8年5月31日現在)

区分	品名 (単位)	種卵			鶏			計		
		令和6年度 a	令和7年度 b	令和8年度 5月31日現在	差 b-a	令和6年度 a	令和7年度 b	令和8年度 5月31日現在	差 b-a	差 b-a
受高	種豚・種鶏(頭・羽)(ア)	892	654	678	-238	990	714	752	-276	
	前年度繰越高	0	0	0	0	631	58	588	-573	
	本年度生産高(イ)	5,180	4,640	830	-540	4,785	6,167	390	1,382	
単位数量 同前年比(%) (b-a)/a×100	計	5,180	4,640	830	-540	5,416	6,225	978	809	
		5.81	7.09	1.22	1.28	4.83	8.64	0.52	3.81	
					22				78.9	
払高	売払数量	5,180	4,640	830	-540	4,075	4,290	439	215	
	売払金額	77,700	69,600	14,110	-8,100	872,050	918,060	85,020	46,010	4,980,361 -6,814,634
	非売品 数量	0	0	0	0	1,255	1,292	49	37	
	分類換 管理換 その他	0	0	0	0	28	55	0	27	
	計	5,180	4,640	830	-540	5,358	5,637	488	279	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	58	588	490	530	
摘要										
				R8.8.5調定 R8.6払出額 6,800 R8.5払出 R8.6調定額 510					R8.8.5調定 R8.6払出額 10,300 R8.5払出 R8.6調定額 510	
当年度調定額		77,700	69,600	20,400		872,050	918,060	85,020	26,134,119 19,319,485	4,990,151